

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 9 月 7 日

調査者氏名

山本 昭夫

046 87009

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PHILIPPINES	(現地公用語) PRAWN CULTURE	新規	(男) 1 人	63 年 7 月	
	(日本語) 18ヶ月 養殖 (エビ)	姦X贅	(女) 人 (男女不明) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): NAVAL SCHOOL OF FISHERY (日本語): ナバル水産学校					
② 隊員勤務先名称: 上=同じ 日本語名称(上=同じ)					
所在地: NAVAL SUB-PROVINCE OF BILIRAN 主要都市(ダロバン)から 80 キロ					
③ 事業規模及び内容: 1961年に創立した学校に学生数 350名、教職員 33名に 運営される。高等学校、短期大学コースをもっている。敷地 5ha、湿地 10ha あり、養殖場 60haを運営している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教師及び近隣漁民への普及員					
② 技術の範囲: 汽水養殖技術、主としてエビ及び、シロフイシ、泥ガニの類 ふ化から育苗、生産までの全般的な技術					
③ 業務の形態:					
学校に配属し、授業(理論・実習)をもちながら、近隣漁民への技術普及を、 州庁及び水産局の技術者とともに協同しながら実施していく。学校配属では あつか、ビララ島全体をみながら求めらるる技術改善、新しい技術の導入を 試みる。島全体の水産技術向上を目指し、計画、立案にも参加する ことにする。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 水産学校教師、25~35、2名					
⑤ 現地で利用できる機材: ハンボート、現地の漁具類(写真参照)					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語、セブアノ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ビララ州にある3つの学校のうちの1つ、島民教育及び 技術向上の要は大きな期待が寄せられており、特に州庁の協力は大きい。 学生に教えることも求められているが、ビララ島の水産技術改善へ対する協力 効果は高いと見られる。島民への水産指導者として大きな期待が かけられている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
水産学校卒 <u>エビ養殖経験3年以上</u> 普及員の経験ありは尚可					
203					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 9 月 7 日

調査者氏名

山本 昭夫

ox687008

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PHILIPPINES	(現地公用語) PRAWN CULTURE (日本語) 182 養殖 (エビ)	新規 X 派 X 教 X	(男) 1 人 (女) 人 (男女不明) 人	63 年 7 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): LAOANG NATIONAL TRADE SCHOOL (日本語): ラオアン職業訓練校					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称(同上)					
所在地: LAOANG, NORTHERN SAMAR 主要都市(カティマン)から 60 キロ					
③ 事業規模及び内容: 学生数 1,700 人 (高校 1,400 人 大学 300 人), 教職員数 94 人にて 電気・建築・自動車・設計・家政・水産学科を 2 年・4 年コースで運営している。 敷地面積 20ha, 養殖場 6.0ha あり。ラオアン島では唯一の国立学校である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教師					
② 技術の範囲: エビ養殖を主とし、ミルワライ語・泥ガニ(プリマシ)の養殖に関する 一般理論・実践技術。					
③ 業務の形態: 2 年コース、4 年コース 合わせて 237 人の学生に授業(講義・実習)する。 養殖場 6.0ha を所管あり。さらに拡大する予定もしている。 主として、学校内での活動に注力する。ラオアン島におけるエビ類の養殖は行われており 島民への養殖技術普及を行うことにも取り組む。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 24~30 歳、水産学部卒 2 人					
⑤ 現地で利用できる機材: 養殖場 (6.0ha)					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語 フライ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
ラオアン島は、サトウ本島のラウス町から 400m くらい離れており、その海峡は深く 流れる。ラオアン島内での自給生活が成り立っており、米・根菜類(芋類)の増産 が主。所得増につなげるコブラ、水産関係に力を入れている。その中でも価格の高いエビ 養殖には、島民の大きな期待がかけられている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
水産科卒 経験(3年以上) 水産普及員の経験があれば尚可 (孤島の生活に耐えられる人)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 8 月 31 日

調査者氏名 山本 昭夫

046 88007

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PHILIPPINES	(現地公用語) PRAWN CULTURE	新規	(男) 1人	63年 7月	
	(日本語) エビ養殖(エビ)	XXX級	(女) 人 (男女不詳) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): DEPARTMENT OF AGRICULTURE (日本語): 農業省					
② 隊員勤務先名称: DAF/BFAR REGION-7 OFFICE 日本語名称(農業食糧省水産局) 所在地: CEBU CITY 主要都市(CEBU)から キロ					
③ 事業規模及び内容: 全国 13ヶ所ある地域事務所のうち、セブ島を中心とし、東ネグロス、 タホル島、ホホル島を巡回し、水産開発に勤めている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): ホホル島内の水産圃場の写真を別紙添付。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 水産開発技官					
② 技術の範囲: エビ養殖を中心とした、泥かき(アリアカ)、シロフイシ(バガス)等の稀水 養殖技術。					
③ 業務の形態: Region-7 事務所の中に、いくつかの養殖場があり、その中の1つに 常駐し地域の水産技術開発に協力している。主として、現在高価な 高いエビ生産増産の大きな目標と定めている。種エビの生産、集収、 販売及び圃場での育苗、増産、そして市場開発への一貫した(殖養) 体系の確立を求められている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 有り。					
⑤ 現地で利用できる機材: 簡単な実験器具					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し。					
⑦ 使用する言語: 英語 セブアノ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: Region-7 地域は、島が多く海水産物資源に 恵まれている。そのため、魚価は安いと云え、漁民の収入は高くはない。 近年はエビの輸出がさかんになり、その価格も高いため、現金収入 を得るために多くの産業と折りつづけている。水産局ではエビ養殖技術開発 に期待を寄せている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 水産科卒 (経験 3年以上) エビ養殖についての技術・知識が必要					
※ 事務局記入 205					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup> 昭和 元年 3 月 15 日

調査者氏名 佐々木 聡

04689005

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Aquaculture	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	(男) / 人	年 月 取得の速効	
	(日本語) 養殖 (182)	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Northern Iloilo Polytechnic State College					
(日本語): 北イロイロ工芸大学					
② 隊員勤務先名称: 同上					
日本語名称(同上)					
所在地: Iloilo 州, Estancia 町					
主要都市(イロイロ)から 110 キロ					
③ 事業規模及び内容:					
学生数 3000人(高校部 2400人, 大学部 600人) 漁業科の他, 自動車科, 電気科, 秘書科等 8 学科から成る。漁業科の内養殖課程は学生 60人。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
別添写真参照。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 養殖アドバイザー					
② 技術の範囲: 「耳貝の稚貝生産, Propagation に関する技術, 養殖に関する一般知識。(Abalon)					
③ 業務の形態:					
養殖科の 6 人のインストラクターと共に, 耳貝の稚貝生産にあたる。現在はリカーチの段階であり, これを Propagation に結びつける Project の実施。別添プロジェクト・プロポーザル参照。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: インストラクターは高校部に 3 人, 大学部に 3 人いるが, このうちカウンターパートになるのは, 海洋研究で修士号を持つ。35才。					
⑤ 現地で利用できる機材:					
別添リスト, 写真参照。					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: なし。					
⑦ 使用する言語: 英語, イロイロ語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
耳貝は育成できる海域が限られている貝で, Estancia はその育成に適している。現在は天然物は 1kg 3500円で買われている。月 4 万の需要があるが, 天然物だけでは対応しきれず, 保護の意味も含めて稚貝の生産に取り組むとしている。市場性の高いことから, 地元の期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○耳貝に一番近いと思われる「とこぶし」の稚貝生産の知識を持っている事。					
○あるいは, 貝の養殖を学んだ者に対して, 「とこぶし」の技術研修を実施する。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 7 月 10 日

調査者氏名

佐尾 小 者 二

04687-002

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Fish Culture (日本語) 182 養殖	新規 <input checked="" type="radio"/> 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	62 年 12 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Bureau of Fisheries and Aquatic Resources (日本語): 水産資源局					
② 隊員勤務先名称: Isabela Provincial Fishery Office 日本語名称(イサベラ州水産事務所) 所在地: San Mateo, Isabela 主要都市(マニラ)から約350キロ					
③ 事業規模及び内容: 養殖池 7 面 エンクリートタンク(28 面)を有する種苗生産場もかねる。 1985 年度種苗生産量は約 110 万尾(フィリアニロイ) 総面積 1ha					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別添不貞参照					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 水産技術普及員					
② 技術の範囲: フィリピン養殖(網生管, 池中)について種苗生産から養成の知識及び技術を紹介指導					
③ 業務の形態: 配属先においてフィリピン種苗生産をするとともに周辺養殖場を回り技術を指導する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 大半知識はあるが、実務経験にとぼしい。					
⑤ 現地で利用できる機材: 種苗生産に必要を最低限の機材。					
⑥ 第3国人等の配置状況: フィリピンローター 1 名					
⑦ 使用する言語: 英語・イロカ					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 近くのマニラ湾湖を利用して魚類生産が強く期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 淡水養殖に興味と知識のある人として、協同組合にも少しは知識のある人。(水産高校 対 水産学部卒)					
※ 事務局記入					

207

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 7 月 9 日

調査者氏名

佐々木 省二

64187001

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) fish culture (日本語) 淡水養殖	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	62年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Bureau of Fisheries and Aquatic Resources (日本語): 水産資源局					
② 隊員勤務先名称: Villaverde municipal agricultural office 日本語名称(ビラベルテ農業事務所) 所在地: Villaverde, Nueva Vizcaya 主要都市(マニラ)から280キロ					
③ 事業規模及び内容: 勤務先の事務所には所長以下水産普及員2人, 畜産員2人, 農業普及員7名 がおり, 地域内の農民を対象に生産地域の拡大, 技術の向上, 協同組合の結成・運営の 向上を目的に普及活動を行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 水産普及員					
② 技術の範囲: 淡水養殖技術一般, 特にテラピア・ニロチカの粗放的な池中養殖, 種苗生 産の技術と水産普及員としての普及技術が必要とされる。					
③ 業務の形態: 担当地域内に散在するテラピア養殖をしている農家のうち約40 件を対象としてテラピア養殖の巡回指導を行う。ほとんどの養殖家は自家消費用の ためにテラピアを養殖しており500㎡以下の小規模の煮堀り池がほとんどであ る。普及員は毎月対象としているそれぞれの農家を訪問して池の状況, 養殖 についての訪をしたり又池での作業を通して普及活動を行う。					
D) 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 普及活動の対象者は主に農民で経験 による知識だけに基づいて養殖を行っている場合が多い。					
⑤ 現地で利用できる機材: 全長20mの引き網, 小型網生簀(2x1x1m)8ヶ, はかり(10kg用) たも網, 網地。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 勤務先のある州内に水産普及員として2人のU.S.P.-スタッフが活動している。					
⑦ 使用する言語: イロカノ語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: フィリピン人は一般的に魚食の習慣が強く, 隊員の活動先は 内陸部で海産魚の価格が比較的高く, 伝統的にタイリク源の多くを淡水魚に依存 している。この地域で養殖されている魚のほとんどがテラピアで, すでに多くの農家がテラピ ア養殖を行っているが, 水産資源局は隊員にテラピア養殖をさらに広め同時に 農民の養殖技術の向上を図ることを期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (水産高校もしくは水産学部を卒業した者)。淡水養殖, 特にテラピア養 殖の実務経験のある者が望ましい。					
※ 事務局記入					

208

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 4 月 20 日

調査者氏名 鈴木信一

05586045

受入希望国名	受入希望業種 (現地公用語)	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名
タイ	182 淡水魚養殖	新規	(男) 1 人	年 月	
	(日本語)	交替	(女) 人		
			(男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): The institute of technology and vocational education

(日本語): コンストラクト農業高等専門学校

② 隊員勤務先名称: コンストラクト農業高等専門学校 淡水魚科 (日本語名称)

所在地: コンストラクト県ランソン市 主要都市(バンコク)から1000キロ

③ 事業規模及び内容: 生徒数約950人、教師数約80人。淡水漁業科、農業機械科、畜産飼育科、農業経営科などがある。

④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: カウンターパートに就いて技術指導を行う。

② 技術の範囲: 淡水魚の病気の研究、調査など。

③ 業務の形態: 淡水魚に発生する様々な病気について研究し、その原因及び対応の仕方について、カウンターパートに指導する。即ち淡水魚に発生する病気を、その病に付いては予防法を指導する、また指導する。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 淡水魚科には教師約2人あり、

大衆で淡水魚の育て方一般に詳しい。

⑤ 現地で利用できる機材: 池の3部を20126あり。2020の池を食用の為の淡水魚を育てる。病気を研究する為の淡水魚科は池のみに限る。

⑥ 第3国人等の配置状況: いはい

⑦ 使用する言語: タイ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 淡水魚(食用)に発生する病気の調査及び研究、対応の仕方、池に就いて経験約2年以上。タイ語が話せる。年齢26歳以上

※ 事務局記入

209

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 9 月 26 日

055 86044

調査者氏名 鈴木 信一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タイ	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Laboratory Management	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of University Affairs  
(日本語): 大学庁
- ロ. 隊員勤務先名称: Maejo Institute of Agricultural Technology 日本語名称 (マジョ農科大学)  
所在地: チェンマイ 主要都市からの距離 (より600キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: チェンマイの農科大学(IAT)はタイ唯一の4年制の国立農業大学であり、  
農業経営, 農業生産の2学部から成っている。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- 1. 隊員の業務上の地位: 教官(Instructor)
- 2. 技術の範囲及び業務の形態: 隊員は同大学農業生産学部動物学科内水面漁業課に所属し、  
淡水養殖, 淡水漁業研究室における実験・研究の指導, 研究体制の整備・改善を行う他、学生に対して淡水養殖・淡水漁業についての講義を行う。また大学が行っている週辺農民の普及訓練コースに参加し、タイ側カウンターパートとともに訓練にあたる。
- 3. 対象者及びカウンターパートの技術水準: 指導の対象は動物学科の学部学生(30-50人)である。  
IAIは4年生大学であり、文部省管轄のAgricultural College (高校3年短大部2年)に比べ学生の質は高い。
- 4. 機材: 基本的機材は一通りあるが充分ではない。
- 5. 使用する言語: タイ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

大学教育に於ても一般的に理論の講義が中心となり単なる知識の取得に止まり、研究、実験、実習等の実践による理解の面が薄れている傾向にある。同学部は特に実験・実習の内容の拡充・改善を通じて教授内容の向上を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大学卒以上 ② 経験3年以上 ③ 年齢26才以上 4. 大学での指導となったため  
学生の資格に加えて当該分野における大学での研究経験(出来れば修士)がある  
ことが望ましい。



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入年 昭和 元年 3 月 6 日

調査者氏名 川口 隆一

(13188001)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
モロッコ	(現地公用語) Pisciculture (日本語) 182 養殖	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	2年 2月 (元年度2次隊)	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministère de l'Agriculture et de la Reforme Agraire (日本語): 農業農地改革省					
② 隊員勤務先名称 Centre National de Recherche en Hydrologie et Pisciculture, Azrou. 日本語名称(国立水理淡水養殖研究所) 所在地: 主要都市(ラバト)から東 350km					
③ 事業規模及び内容: モロッコで唯一の淡水養殖場である。主にブラウンマス、ニジマス、カワカマス、ニシン、コイなどの養殖を1924年以來から当初フランス人指導の元に行なってきたが、現在1982年に完成した研究室に数々の実験用備品を揃え、モロッコ人のみで管理運営されている。(写真送付済) 設備新築済みまだ間もないため立派な実験用機材もほぼ揃っており、十分な協力活動ができると思われる。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Ingénieur de Pisciculture (淡水養殖技師)					
② 技術の範囲: 主に研究室に勤務し、マス類の産卵期には親魚の採卵、採卵、検卵、水質検査、人工フランクスの開発、研究などを行なう。					
③ 業務の形態: 淡水養殖について幅広い知識を要求され、同センターの職員1人として勤務。特に稚魚の中に人工飼料(餌)を食べない種類の稚魚の飼育方法、人工フランクスの開発、改良、魚の病気に対する予防方法等も研究する。 勤務時間: 8:30~12:00, 14:30~18:30, 夏時間(6月末~9月中旬)テマダン中、8:00~15:00, 土、日、祝祭日は休み (完全週休2日制)					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 7人のモロッコ人研究員があり、その内4人はベルギー、アメリカ、フランス、スペインでの留学経験があり、エリートに属する。					
⑤ 現地で利用できる機材: ほとんど必要な実験用器材はすべて新品で揃っており、水質検査一式はJICAモロッコ事務所にて保管中、借出し可能。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し。					
⑦ 使用する言語: フランス語又は英語で勤務。人夫とはアラビア語が必要となる。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1973年~1974年の1年数ヶ月にわたり48年度後期儀礼志宣隊員(現在ブラジル移住中)が西配属されていた。その後10年以上のブランクはあるが、年々活発になってきた日-モ関係からJICA研修員としてエビ、貝、養殖部門の帰国研修員連か、日本の養殖技術にさらに深く学びたいとの事で要請がでたと思われる。養殖場の建設として種苗生産、親魚の育成、餌、魚病、水質検査と主に行なう。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 水産大・水産高校卒業以上で少なくとも淡水養殖に関し、5年以上の実務経験があることが望ましい。モロッコ山村部の冬は大雪も降る寒、所入の配属となるため心身失健康で忍耐力のあふ、明るく努力型人間がいい。					
※ 事務局記入 25歳以上 211					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63年 / 月 11 日

調査者氏名 和泉 尚

221-87-018, 221-87-019

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
エチオピア	(現地公用語) Fish Culture (日本語) 182 養 殖	新規 交替	(男) 2 人 (女) 人 (男女不問) 人	63年 8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture, Fish Resources Development Department. (日本語): 農 業 省 漁 業 資 源 開 発 局					
② 隊員勤務先名称: Sebena Fish Culture & Research Institute 日本語名称(サバタ養殖研究所) 所在地: Sebena 主要都市(アディスアババ)から 26 キロ					
③ 事業規模及び内容: 1977年協力隊の援助により建設された養殖場である。 テラピア、カーブなどの淡水魚の人工孵化による稚魚の生産及び普及を目的とする業務である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 主 管、ラボラトリー、ハッチエリー、倉庫 など一応は揃っているが管理は良くない。水を漏水を利用。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: シニアアドバイザー					
② 技術の範囲: 人工孵化 稚魚の生産及び養殖 新種の養魚開発 養魚場運営 養殖の普及を目的とした農民へのアドバイス、養魚場の水質検査					
③ 業務の形態: 現在サバタ養魚場には、テラピア(ニロカヒジリ)と、カーブ(フモシ、シルバー、ルシマン、グラス)などが養殖されており、隊員は主として、カウンセラーパートと見られ、技術上のアドバイスと養魚場の運営、管理をする。 また、養殖普及のため、養魚場の建設、水質検査、養殖場への指導を行うため、全日各地を巡回するに忙しい状態である。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 高卒で20歳前後であるが、専門的知識は、不十分、マネージャーは少ない。					
⑤ 現地で利用できる機材: 冷蔵庫、顕微鏡、ポンプ、水質分析器、分光光度計。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し。					
⑦ 使用する言語: アムハラ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: わたし、協力隊の全額援助により建設された、隊員の手により技術指導が行われてきたところであるが、その後長期に亘り途絶えていた肉の技術上の問題などが克服されてきた。そのほか湖の干涸、ヨスリ臣の養魚場を確保するなども、養殖の促進取組が積極化している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 短大卒以上 経験2年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup>~~昭和~~ 元年 3 月 14 日

調査者氏名 江畑 義徳

(22589001)

受入希望国名	受入希望業種 (現地公用語)	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	FISH CULTURE (日本語) 182 養殖	新規 (交替)	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	1990年4月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): FISHERIES DEPARTMENT, MINISTRY OF REGIONAL DEVELOPMENT (日本語): 地域開発省, 水産局					
② 隊員勤務先名称: FISHERIES DEPARTMENT KISUMU DISTRICT OFFICE (日本語名称(水産局キスム事務所)) 所在地: キスム市内 主要都市(キスム)から 0 キロ					
③ 事業規模及び内容: 職員数は120名で, 主な業務内容は Lake Fisheries, Fish Farming, Fish Processing and Quality Control and Gear Technology である。その District はさらに5つの Division を管轄している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 養殖用の池が7面あるがポンプ等の設備が不備はため1年以上放置されている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Fish Farming 担当で, カウンターパートとの協同責任者である。					
② 技術の範囲: 養殖全般とテラピアに関する知識。					
③ 業務の形態: 配属先事務所スタッフと共に各農家の要望に応じて池の造り, 稚魚の配送, 収穫の手伝い等を行っている。現在の計画は農家は農家を更に集中的に指導しモデル池を造る事で, 今残っている7面の池については手を替える計画はない。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: 車輦1台(ランドローバー): 使用許可が必要であるが, あまり利用できないのが現状である。Oxygen Cylinder 1本: 揚水ポンプが壊れたため使用できない。 個人的には 胴長 3本, バケツ2コ及び 測量機械1セットがある。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: 配属先事務所では英語, 農家はルオー語である。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 最近 ビクトリア湖でのテラピアの漁獲が減りつつあるので, テラピア養殖は今後重要な産業の1つになる可能性を持っている。この現状に合わせず実際に養食を指導できる人材は多く技術的レベルも極めて高い。ケニア側としては MONosex CULTURE と CATFISH を用いた POLY CULTURE を中心に テラピア養殖を目指している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 自動二輪免許 養殖全般に関する知識とテラピアに関する深い知識があれば資格は問わない。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 3 月 10 日

調査者氏名 安城 康平

880/0

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ニジェール	(現地公用語) Pisciculture	新規	(男) 人	64年 / 月	
	(日本語) 淡水養殖	交替	(女) 人		
	182 養殖 (淡水)		(男女不問) / 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Direction du Service des Pêches et de la Pisciculture / MAGE					
(日本語): 漁業養殖局 / 農業環境省					
② 隊員勤務先名称: D.S.P.P 日本語名称 (漁業養殖局)					
所在地: ニアメ 主要都市 ( ) から キロ					
③ 事業規模及び内容: ニアメ近郊ニジェール川沿いの養殖場において					
養殖試験 養殖を行っている。始まったばかりであり市場出荷は軌道にのっていない。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): ニジェール川沿いに 3ヶ所の養殖池があるものの					
試験設備は乏しい。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 養殖養殖技師					
② 技術の範囲: 養殖魚の選定 養殖条件の指導 等 基本装備と持参の方向付。					
③ 業務の形態: 当部門の歴史が浅い事もあり、養殖技師は少なく慎重な市場への出荷等は行なわれていない。魚を養殖池に集めると病気が発生するなど基本的な段階でつまづいているようである。一つ一つの問題を解消し当事業を軌道にのせるためのラインづくりが求められている。					
魚は テラピア、キャフテン、鯉等。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパート: 農業専門学校卒業程度 25才 ~ 28才					
⑤ 現地で利用できる機材: 養殖池、漁具 (アミ等) 薬品は購入可					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: フランス語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 政府の方針である食糧増産の目標で始めた事業であるが、現状は問題を多くかかえ、救世主が求められているようであり、当事業を軌道にのせるべく期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):					
○ 養殖経験 3年以上 (淡水)					
○ 大学卒業程度					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和1989年3月 日

調査者氏名 月井 芳文  
内村 真之

26189010

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名*
セネガル	(現地公用語) Pisciculture (Ostreiculture) (日本語) 養殖(カキ養殖)	新規 交替	(男) 1人 (女) 1人 (男女不問) 1人	2年2月	
(1) 配属先 Secrétariat d'Etat aux Ressources Animales					
① 配属先名称(現地公用語): Direction de l'Océanographie et des Pêches Maritimes (日本語): 動物資源庁 水産局					
② 隊員勤務先名称: Service au poste de contrôle des pêche maritimes de SKONE 日本語名称(ヨコン漁業管理事務所) 所在地: ヨコン 主要都市(カラック)から55キロ					
③ 事業規模及び内容: ファティック州アンジオン県ヨコン市周辺の漁業管理を行なっている。 現在、定着したカキ採集販売が、当地の重要な産業にもなっている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所(住宅兼)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 水産技術者					
② 技術の範囲: 活動はカキ養殖が主となる。カキ養殖に関する知識および応用能力が必要。また、船外機の知識も必要である。					
③ 業務の形態: 公務員勤務時間(8:00~12:00, 15:00~18:00)である。業務内容にあわせ変更することもある。 天然のカキから、採苗し、漁民グループと養殖を試みる。養殖に関する技術指導を中心に漁民のカキ組合の運営指導を行なう					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象は漁民、組合指導者になりうる者が数名。カウンターパート: 水産局職員、水産学校卒33歳					
⑤ 現地で利用できる機材: 船外機(ヤマハ8馬力、水産局機材) FRP製小型ボート(水産局機材)、顕微鏡、プランクトンネット(木平、水垂引き)、各村にあるピローグ(船)、船外機(ヤマハ8馬力)					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: フランス語、ウォルフ語、セレール語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 4年前より隊員の指導のもとに首都ダカールでのカキ販路確保のためヨコン近隣4ヶ村をまとめ組合が組織された。現在漁民自身で採集から販売までの一貫した活動ができるようになった。今後、協力隊員には減少傾向にある天然カキ採集、販売指導から、カキ養殖実験、養殖普及に力をそそぐことを希望している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 船外機知識、バイク運転免許、カキ養殖経験					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

16

記入 昭和 60 年 12 月 1 日

調査者氏名 古賀実 川口勝資

26186106 / 016  
182 巻殖

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル	(現地公用語) Pisciculture (Ostréiculture) (日本語) 182 カキ巻殖	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	63年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Secrétariat d'Etat aux Ressources Animales 動物資源庁 (日本語): Direction Pêches Maritimes 水産局					
② 隊員勤務先名称: Centre Expansion Rural Polyvalent de 日本語名称(ルディアウロフ 農村拡大センター) 所在地: Loudia-oulof (Loudiaoulof主要都市(ジカンプール)から 60 キロ)					
③ 事業規模及び内容: 初めての試みの為巻殖7ル-7と124名の漁民メンバーでスタート。 水産物加工隊員もいる。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): ナシ					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 巻殖技士					
② 技術の範囲: カキ巻殖の指導が主でありカキ巻殖と船外機の知識が必要					
③ 業務の形態: 自然のカキを採取し漁民7ル-7と巻殖を試みる。 巻殖に関する技術的指導、販路開拓、漁民7ル-7運営など。 一般にカキ巻殖は11月~4月(乾期)となる。 公務員勤務時間は8:00~12:00 15:00~18:00でありか。 農水関係業種は業務内容に合わせて変更しよう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 半漁民、技術水準セロ 学歴、小学校卒業程度。					
⑤ 現地で利用できる機材: ボート、船外機					
⑥ 第3国人等の配置状況: 協力隊員(水産物加工)					
⑦ 使用する言語: フランス語 > ショウ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現地はカキ巻殖における条件と備えあり近隣に市場となる リゾート地が存在する。カキによる地域経済の発展に期待する。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 巻殖経験 船外機知識 単年					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

11/14

記入 昭和 63 年 8 月 15 日

調査者氏名 本間 誠

319.86007

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
コロンビア	(現地公用語) Piscicultura	新規	(男) 1 人	年 月	
	(日本語) 182 養殖(魚)	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Corporación Autónoma Regional del Cauca - CVC - (日本語): カウカ河流域南産公社					
② 隊員勤務先名称: Instituto de Piscicultura Tropical 日本語名称(熱帯養殖研究所) 所在地: バネ県 プガ市 主要都市(カリ市)から 50 キロ					
③ 事業規模及び内容: 同南産公社天然資源事業部所属の当研究所は所長以下 13 名の所員により、コイ、テラピア、ニギマス、淡水エビの養殖研究が行われている。稚魚の生産は万匹に達している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 研究所本棟, 実験室, 飼料生産設備, 水質検査機器, 養殖池。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 研究員					
② 技術の範囲: 特に魚の人工授精(孵化), 稚魚の生産に関する技術					
③ 業務の形態: 繁殖法や飼料の研究結果を基に稚魚を生産し有料又は無料で配布した後, アフタケアーとして養殖池の管理指導を行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 2 人の生物学専攻者 (30 才前後)					
⑤ 現地で利用できる機材: 飼料製造機, 水質検査機, 分析機器。					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 僻地住民の栄養改善のためのたんぱく質供給という重要な性格を持つ事業であり 3 年前から要請されている。現在の生産規模を 5 倍程度に拡張する計画があり、養殖池の増設がすでに始まっている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○水産学部卒					
※ 事務局記入					

217

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup>~~昭和~~ 元年 3 月 10 日

調査者氏名 山際 秀雄

3408800/

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
グアテマラ	(現地公用語) PISCICULTURA	新規	(男) / 人	2年2月	
	(日本語) (182) 養殖	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Agricultura, Ganaderia y Alimentación					
(日本語): 農牧省					
② 隊員勤務先名称: Cooperativa pesquera de San José 日本語名称(サンホセ漁業協同組合)					
所在地: サンホセ市 主要都市(グアテマラ)から 110 キロ					
③ 事業規模及び内容: 10隻のトロール船を所有し、一回8日の船操業を行っている。組合には37グループ70人の組合員が居り、この地網に入る魚類を収穫している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): トロール船 10隻、倉庫、散水機、網修理具 etc.					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 農牧省 水産課 技術者					
② 技術の範囲: エビ選別(種類、性別 etc.) 技術及 禁漁期の設定調査指導					
③ 業務の形態: 組合員と共にトロール船に乗船し、捕獲状況、方法を調査の上、エビの種類選別、性別標本作成を行うこととなるが、禁漁期間の設定調査が主たる業務となる(現在は4月、5月を禁漁期としているが根拠は無い。)					
・この他魚類も捕獲しているため、船上における捕獲物の処理等に対する指導も必要となる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: ほとんど無し。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し。(JICA、エビ養殖専門家が活動中)					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本国のエビ漁業は国内消費および輸出に大きなウェイトを置いており、日本の民間業者との合弁企業もある。協同組合は農牧省の指導を受けたいから、技術的にも未熟であり、捕獲量の増大のための技術指導に期待を寄せている。しかし最大の目的は禁漁期(区)の設定にあり、資源の有効活用保護の調査に期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
水産学部 又は水産大卒が望ましい。この選別標本作成、産卵時期の調査が出来れば、漁具漁法でも可。					
※ 事務局記入					



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

86-026  
182

記入 昭和 61 年 8 月 8 日

調査者氏名 堀川 満

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグアイ 182	(現地公用語) Piscicultura en dulce (日本語) 淡水養殖	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	62年 9 月 62年 1 次隊	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): La Universidad Nacional de Asunción (日本語): アスンシオン国立大学					
② 隊員勤務先名称: Piscicultura de Ciencias Veterinarias de la Universidad Nacional de Asunción 日本語名称(アスンシオン国立大学獣医学部水産学科) 所在地: サンロレンソ 主要都市(アスンシオン市)から 13 キロ					
③ 事業規模及び内容: 国立アスンシオン大学として、総合大学の体をしている。要請先は当大学獣医学部水産学科からのものであり、40名程の学生が学んでいる。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 研究室及び養殖池16.(内2は完成) / 池 15m x 5m 程度。 水槽(ガラス製 大小4)。写真添付					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 同水産学科教授 Dr. Gareano のもとの共同研究者及び講師。					
② 技術の範囲: 淡水魚に関する養殖法、栄養、病理学等全般における知識・技術が必要。主に熱帯、亜熱帯に棲息する魚類を対象とする。研究対象としてカエル、ワニ等も予定している。					
③ 業務の形態: 同獣医学部水産科担当教授1名と4名の助手と共に主に大学最上級生の6年生約40名を対象に研究指導するが、直接の授業は行わず、午前7~11時、午後2~6時の勤務時間内に随時指導に当たる。地方の淡水養殖研究所への出張指導も行う。 学生は将来獣医師になる為、その教育課程の中に養殖が含まれているものである。現在取り扱っている魚は、パラグアイ川、アルトパラナ川に棲息する熱帯魚、ピラニア、テラピア、カルパ等。他に食用が					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 4名の助手の内、1名をカウンターパートに充てる。当大学獣医学部卒、30才。					
⑤ 現地で利用できる機材: 現在施設を拡充、充実させている所であり、研究の為に必要な機材が十分揃っているとは言えないので、一部を携行機材として持参する必要がある。(携行機材リスト参照) 隊員用研究室有。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スペイン語 (教授はフランス語も可)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同国は内陸国である為、国民の食生活は肉食及びイモ類に偏っており、栄養摂取のバランスがとれているとは言えない。同国内には大河があり、川魚の種類は豊富であるが、食用として十分に利用されておらず、今後の研究により、有益な魚を養殖、普及させ、国民の食生活の改善に役立たせたいとしている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (大学、水産学部、又は農学部養殖学科卒業) 当国の養殖専門家と知識面、技術面で対等以上に持たなければならないため次の点に関し、5~6年の経験が必要。淡水魚養殖に関する(孵化)(栄養学)(病理学)に関する専門知識・技術。					
※ 事務局記入 220 2年					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表 JVPR(FAX) 085

記入 平成元年 1月 25日 2/3

調査者氏名 渡辺 順子

36888114

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パナマ	Discicultural(aqua dulce) (日本語) 淡水養殖	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Agricultura y Ganaderia S.E.A.G. (日本語): 農牧省 農牧普及局					
② 隊員勤務先名称: SEAG, G.B. Caballero 所在地: パナマ州コロン県 G.B. カバジェロ 日本語名称(農牧普及局 G.B. カバジェロ出張所) 主要都市(アシオン)から 95 キロ					
③ 事業規模及び内容: パナマ州コロン県ウアウイ事業所管内の出張所, 職員2名(農業全般の指導員(男)生活改善指導員(女)夫婦 常駐。同地区には、淡水養殖プロジェクトは企画庁の発案(3~4年前)開始された。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 出張所事務所 1; 養殖プロジェクトメンバーの養殖池 68~70個(兼掘り池) 20x15 深さ1m~1.5m程度)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: SEAG G.B. カバジェロ事務所職員					
② 技術の範囲: 淡水養殖(テラピオ、鯉中心)の全般的指導。雌雄鑑別(sexaje)					
③ 業務の形態: SEAG出張所を活動の中心とし、当地村内及びその周辺の約70程の養殖池を有する G.B. カバジェロ養殖プロジェクトの指導、養殖池を持つ農家巡回指導(Zorrilla地区中心) 当地近郊地区への普及(Sapucái, Velenzuela) La Colmenaの日系人養殖研究グループへの指導(我々、上記以外の地区からの見学者も 随時あり)					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: プロジェクトに参加の村民、(カウンターパート) SEAG 同出張所職員、プロジェクト役員					
⑤ 現地で利用できる機材: 養殖池 (SEAG所有 車輛)					
⑥ 第3国人等の配置状況: パナマ平和部隊(男子) 1名 (同地区には 協力隊員2名配備)					
⑦ 使用する言語: スパイン語、クラニー語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1982~1987年にかけて企画庁による G.B. カバジェロ開発計画が実施され、その一環として養殖プロジェクトも始められた。以後、上記開発計画は終了したが養殖プロジェクトは継続されており、Don Juan プロジェクト役員等を中心に SEAG職員も加わって活動している。アシオン大学の養殖専門家の短期講習会も行っており、現在、当地では養殖が盛んに行われている。肉食一本食生活から魚類を利用した経済的、栄養的。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと) 有利な食生活改善が期待されている。 高校、大学(水産学科)、経験2年、雌雄鑑別					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 9 月 6 日

調査者氏名

松尾邦義 倉持浩美

352

88.108

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ジャマイカ	(現地公用語) Fish Culture (日本語) 養殖	新規 交	(男) 1人 (女) 1人 (男女不詳) 1人	64年 8月	
① 配属先 (出身地男性)					
① 配属先名称 (現地公用語): The Fisheries Division, Ministry of Agriculture (日本語): 農林省水産局					
② 隊員勤務先名称: Inland Fisheries Unit 日本語名称 (内水養殖場) 所在地: Wickham Park, Catherine St, Spanish Town 主要都市 (キングストン) から 45 キロ					
③ 事業規模及び内容: 年間 600 万本以上の淡水魚を生産している養殖研究所。養殖品種としてアロワダ、ニギロイ、ニギロイ、ニギロイの決定、土質の決定、水質の決定、水質の決定、繁殖方法 Tilapia Nilotica, Chinese Carp, Mirror Carp, Grass Carp 等を比較的に飼育している淡水魚の研究、養殖、Silver Carp, Bighead Carp					
④ 簡概要 (写真添付が望ましい): 上記の "新品種" の研究。 別添厚紙 資料参照					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 上記養殖場付の研究員					
② 技術の範囲: Chinese Carp, Tilapia に関する養殖技術、水質、饵料、幼魚生産、ハッチエリ-の管理技術、その他、淡水養殖一般に関する基礎理論、知識					
③ 業務の形態: 上記 (2)① の立場で 8:30 AM ~ 5:00 PM (土曜日も 4:00 PM 迄、土日は休む) の時間帯に勤務し、(2)② に関する研究、技術指導、普及等を行う。					
④ 若者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: ハンガリーで 3ヶ月の研究 (養殖用飼料のつくり) を終えた 24 歳の大学卒。					
⑤ 現地で利用できる機材: 1970 年製の設備、機材がある。地方への普及を行う場合、餌、肥料、薬、飼料に提供される。					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ジャマイカでは以下の目的のために淡水養殖を推進している。即ち、(i) 急速な人口増加に伴って増加する食糧の需要を供給、(ii) 輸入魚の代替、(iii) 国内産の魚を確保すること、(iv) 外貨を貯蓄、(v) 農民、漁民の雇用増大を図る。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): Chinese Carp, Tilapia に関する養殖技術、経験、知識を有すること。水質、饵料、幼魚生産技術を有すること。 水産学大学 (学部) 卒。英語力が良いこと。					
※ 事務局記入					

222

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 増 元年 3 月 17 日

調査者氏名 松尾 邦義

43189004

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ミクロネシア連邦 (The Federated States of Micronesia)	(現地公用語) Marine Aquaculture (日本語) (海水)養殖 (182)	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Palau Marine Resources Div. Dept. of Conservation & Resource (日本語): パラオ州資源開発省海洋資源局 <span style="float:right">surveillance</span>					
② 隊員勤務先名称: 上記事務所 日本語名称 ( ) 所在地: パラオ州 コロワ (州都) 主要都市 ( ) から キロ					
③ 事業規模及び内容: サンジョセ城の位置からミクロネシア連邦に比して最大の輸出、国内消費としてのホタルシロを扱う。高瀬貝 (trochus) と けら貝 (clam) の養殖である。前者は貝殻を材料としてのホタルシロ製造 (州内有力産業産業の一つ) 及び食用、後者は食用として、木材を船隻用、					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい) 国内消費用にとり、コロワ埠頭からスロートホーランドに15分ほどかかる <del>Island</del> Island にある trochus の孵化施設、(別添写真参照)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 上記配属先の養殖技師。					
② 技術の範囲: 高瀬貝 (trochus), けら貝 (clam), あわび (abalone) の養殖 孵化に因る近付技術。					
③ 業務の形態: 上記配属先の養殖技師として上記貝類の最新 (商品化を促す方向) 孵化技術を <del>導入</del> 導入し、良質 (Commercial base に向けた) の "幼生" の製造を行うことにより、国内消費、輸出、双方の拡大に結びつける。典型的な "実地試験場型" の業務形態。孵化場は産卵の良質 seed を、パラオ州本島、同定島、養殖家へ配布する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 本プロジェクトの直接関係者: ① PMO からの Aquaculture Consultant, ② trochus についての基本的知識を有する現地人, ③ 現地人本プロジェクト					
⑤ 現地で利用できる機材: L マネー以外相当。 別添写真参照					
⑥ 第3国人等の配置状況: 上記④のPMO 1人					
⑦ 使用する言語: 英語, パラオ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ミクロネシア連邦 (FSM) にて、国内消費、輸出両面に最も重要な産品が trochus, abalone, clam である。finish product の commercial base への期待、確保のためには、高水準の孵化技術が不可欠である。サンジョセ城に在る FSM にて Marine Resources の開発、商品化は、コンクリート技術の進歩により可能に最も優先的施策の一つである。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): <u>4年制大学の海洋学部または理学部卒業</u> 上記貝類を特に専門的に研究したこと。上記貝類の学識的養殖と孵化技術を有していること。(実習経験は23年) <u>diver's licence を保有すること</u> 琉球大学海洋学部の卒業生、同業の水産試験場、及び民間企業に上記貝類					
※ 事務局記入 養殖の技術的支援が必要であると。 合計 223					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和63年11月30日  
 調査者氏名 中垣長睦, 畠山敬  
 堀内好夫

(14989004)

受入希望国名	受 入 希 望 業 種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
チュニジア	(現地公用語) Statistiques agricoles (日本語) 農林統計 (191)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	平成 21年 2月	
(1) 配属先					
①配属先名称 (現地公用語) : Ministere de l'Agriculture					
(日本語) : 農業省					
②隊員勤務先名称 : Institut Sylvo-Pastoral de Tabarka 日本語名称 (タバルカ森林牧畜学院)					
所在地 : Tabarka (タバカ) 主要都市 (テニス) から175km					
③事業規模及び内容 : 農業省傘下の2年制森林関係中堅技術者養成短大。1970年スイスによって設立された。総スタッフ数83名, 教授13名, 学生40名。現在学生は全員男子で大学入学資格試験 (バカロア) を通っている。88年度予算は約2,000万円。					
④設備概要 (写真添付が望ましい) : 写真参照。					
(2) 隊員の業務内容					
①隊員の業務上の地位 : アシスタント・アドバイザー					
②技術の範囲 : 森林の航空・衛生写真分析, 森林生産量の調査, 森林の材積目録作成。					
③業務の形態 : 隊員は直接授業に携わることなく, チュニジア 人教授を補佐する形で研究活動を行ない, その結果を直接・間接に授業・卒論作成にいかすことになる。日本での経験を生かし上記研究をチュニジア 人教授と共にこなす。学期は9/15~7/10である。上記統計についてコンピューターを使用するなどして, 統計的処理の方法をチュニジア 人教授と共に研究することになる。勤務時間 : 月~木8:00~12:00, 14:00 ~17:30, 金・土8:00~12:30。					
④対象者及びバックグラウンドの技術水準, 学歴及び年齢 : 学生はバカロア 合格後2年間の研修 (一般教養など) をうけてから入学してくる (20 ~22才), 13人の教授は修士2名, 学士9名, 短大卒2名 (27 ~55才), 内学院の卒業生は3名。					
⑤現地で利用できる機材 : 別添写真の通り実験室など, 各種実験器具。					
⑥第3国人等の配置状況 : 外国人はいない。					
⑦使用する言語 : フランス語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待 : 学院は設立の3本柱として教育・研究・普及を掲げているが, 実際には単なる教育機関となっており, 現在ほとんど行なわれていない研究活動を活性化し, また日本のノウ・ハウを導入したいとの希望が強い。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件については○印で囲むこと) : (大学 卒) 森林に関する全般的知識。					
※事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成元年 3月15日

調査者氏名 マラウイ事務所長  
奈良 輪 睦 幸

24J-89-002

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マラウイ	(現地公用語) AGRICULTURAL STATISTICS	新規	(男) 人	元年12月	
	(日本語) 191 農林統計	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Min. of Agriculture (日本語): 農業省					
② 隊員勤務先名称: Karonga Agricultural Development Division 日本語名称(カロンガ農業開発局) 所在地: P.O.Box 43, Karonga 主要都市('ロンゲ)から600キロ					
③ 事業規模及び内容: 14の課を持ちマラウイ最北部の農業開発局が調査を実施する。'87年度予算は、 約8千万円。 Evaluation Sectionは28名のスタッフ。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務棟, 車輜					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Data Processing Officer					
② 技術の範囲: 農林統計, 及びパソコン使用技術(プログラミングも含む)					
③ 業務の形態: 7:30~12:00 / 13:00~17:00 週休2日 Economistの下で大統領府統計局の指示に基づく調査, 及び報告。局内への資料提供, 調査済み資料の整理と管理, 統計官の育成					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 高卒, Field Supervisor, 専門教育は特に受けていない					
⑤ 現地で利用できる機材: パーソナルコンピュータ HP-85B, ポケットコンピュータ PC-1000. 農業省本省にB-20(Xインフレム)が世銀援助で導入済					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: 英語, ツンバカ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 毎年定期的に実施されている年間農業調査(ASA)の資料作成は, 国家 全体の農業開発計画策定のための基礎となるべく重要な役割を担っているが, 担当者の異動, 及び 英国人が去った後の現地人 Economistのそこで有効なコンピューター処理が出来ていない状況である。 80年以來, 隊員が配属されるも, 折角育てた技術者が他局へ異動し, 連続性がもたせられない現状 がある。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
a. 農林統計専攻大卒 b. ベーシック・フォートランの運用。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

平成  
 記入 昭和 元年 3 月 14 日  
 調査者氏名 田 田 康 雄

25289001

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ヤマйка	(現地公用語) STATISTICIAN (日本語) 農林産物統計 (190)	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	2 年 7 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF AGRICULTURE, PLANNING & POLICY DIVISION (日本語): 農林省企画政策局					
② 隊員勤務先名称: DATA BANK UNIT 日本語名称(資料保存整理課) 所在地: HOPE GARDEN, KINGSTON. 主要都市(キングストン)から市内キロ					
③ 事業規模及び内容: 農林省全体のブレイクとなっており、I.B.M.型コンピューター2台、並行未計8台をブレイクに利用し、各種統計・アンケート作成・資料作成・定期刊行誌・年次報告書作成はもとより、隊員の給与管理・計算等も行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別添写真参照(全2.コンピューター代)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: DATA BANK UNIT スタッフ助手					
② 技術の範囲: 一般統計学、応用統計学、グラフ作成法					
③ 業務の形態: 企画政策局と常に連携プレーを行ない、各種統計資料の作成、グラフ、データ収集、整理、定期刊行物、報告書作成をコンピューターを利用して行う。データバンク課スタッフの政府は比較的高く、技術移転を行なうことにより、同じく同スタッフと共に、データバンクの一員として活動を行なう。また、グラフ作成の為にアンケート作成現場への訪問も並行して行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: スタッフは大学卒、データバンクユニットのディレクターは米国に2年統計学のマスターを修めている。その他2名のコンピューターオペレーター					
⑤ 現地で利用できる機材: 完全にコンピューター化されており、機種は、I.B.M. システム 38.					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同データ・バンク課では、業務処理を簡便にする為、O-A化に努めてきているが、さらに効率を良くする為、要請はつなげた。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○(大学卒で統計学を修めた者) 農業の知識及びコンピューター操作が出来る者が好ましい。○(実務経験2年以上)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和62年9月8日

調査者氏名

箱葉泰

04687007

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Pottery Making (日本語) 201 陶芸磁器	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	63年8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Municipality of Sta. Ignacia (日本語): サントイグナシオ町					
② 隊員勤務先名称: 同上 所在地: 中央ルンターラック州 サントイグナシオ町 日本語名称(サントイグナシオ町) 主要都市(タラクラン)から25キロ					
③ 事業規模及び内容: 24の村から構成される人口26772人の町で主たる収入源は米作りに依存している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別紙写真のとおり					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: プロジェクトオフィサー(陶芸)					
② 技術の範囲: 同町のナムバラン村(Nambalan)の陶器作りの改善にあたり。 (30軒で構成)					
③ 業務の形態: ナムバラン村で伝統的に作られてきた陶器(料理用土鍋が中心)作りを、造形、ロクロの改善、焼成の改善を伴った質と品作りと製品のバラエティ化を目指す。技術の改善					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: サントイグナシオの町村民					
⑤ 現地で利用できる機材: 写真参照					
⑥ 第3国人等の配置状況: ナシ					
⑦ 使用する言語: ヒカノ語, 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 地方の町村が収入増を望むため独自に計画したプランであり、協力隊員の参加により少しでも前進することへの期待を込めて					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ・陶芸経験/者 ・村開発に興味ある者					
※ 事務局記入					

227



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63年 3月 14日

調査者氏名 佐々木 聡

04688009

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) 陶磁器	新規	(男) 人	63年/2月	
	(日本語) Ceramics	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Don Mariano Marcos Memorial Polytechnic State College (日本語): ドン・マリア・マルコス記念 工科大学					
② 隊員勤務先名称: Oroquieta City Institute of Cottage Industries 日本語名称(オロケタ小規模産業訓練校) 所在地: オロケタ市(ミンダナオ島) 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 同校は、カガヤン・デ・オロ市のドン・マリア・マルコス記念国立工科大学の分校で、3年前に設立された。現在、竹工芸、藤家具、金属工芸に39人の学生がいる。88年6月に陶芸コースを新設する。又、88年から、100人の学生に奨学金を出すので学生数の倍増が見込まれる。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 陶芸コース用教室。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 陶芸教師					
② 技術の範囲: 土の選別から成形、焼成まで。釉薬の調合もできる事が望まれた。					
③ 業務の形態: 2年制のコースで学生(16才~20才位)に指導する他、近隣の人々にも短期のコースを南講する。学生数は25~30人を予定している。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 経験は4年程あるが、陶磁器作製について正規の教育を受けていない。24才。					
⑤ 現地で利用できる機材: ミル, 3く3(2), 手く3, 電気窯, 土粉研機, 型, 計り, 成形道具一式,					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: ビサヤ語, 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同校は、地域の小規模産業を育成する主旨で3年前に設立された。現在、本校に陶芸機材があり、今年から、オロケタで活用する予定である。日本は陶芸の本場という事で、JOCVには、コースの設立から参画して欲しい。学生、地域住民、カウンターパートと広く陶磁器普及に協力してほしいとの期待を持っている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (地場)にある材料を使う経験豊かな人。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63年 9月 7日

調査者氏名

合村 甲

15: 046 88106

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Ceramics (日本語) 陶磁器	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	89年3月-	
(1) 配属先:					
① 配属先名称(現地公用語): University of Northern Philippines (日本語): 北フィリピン大学					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称(同上)					
所在地: Vigan, Ilocos Sur 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 11学部 生徒数 7,000					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別添写真参照					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: インストラクター					
② 技術の範囲: 実技が出来ると共に、伝統的方法に改良を加える。					
③ 業務の形態: 陶磁器開発プロジェクトの2人のスタッフに対するトレーニングを中心に授業、実習(学生対象)を担当する。また豊富なwhite clayを利用した陶磁器を開発あるいは改良をする。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 男性2人、基礎知識はあるが実技面が十分ではない。					
⑤ 現地で利用できる機材: 電気窯、叩く口、タイル用圧搾機等 別添写真参照					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: イロカノ、英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: イロコス スーリ州のビガンは古くからの陶磁器の生産地であり、良品の土(white clay)も豊富であるが、伝統的方法で生産しており改良の余地が充分にある。大学の方針の一つに地域周辺の地域産業開発のための普及活動があり、その中心的活動とするスタッフのトレーニングを隊員に期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 成型から焼成まで広く実践的な知識を有する					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup>昭和 元年 〇 月 14 日

調査者氏名 宇部 晋弘

05289003

受入希望国名	受入希望業種 (現地公用語)	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリ・ランカ	Ceramics (日本語) 陶磁器(20)	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	元年 〇 月	
(1) 配属先 Ministry of Textiles & Rural Industrial Development					
① 配属先名称(現地公用語): Department of Small industries (日本語): 小規模工業局					
② 隊員勤務先名称: Waragoda Ceramic Centre 日本語名称(ワラゴダセラムセンター) 所在地: Garberella, Waragoda, Kelaniya 主要都市(コロンボ)から 7 キロ					
③ 事業規模及び内容: 陶器工場, 従業員 35名, 泥漿鑄造成形, 3(3成形) 新素焼, 電気本焼 と行う					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 技師					
② 技術の範囲: エキ組築の調査, デザインの図面描き, 機械の製作, 修理, 品質管理の指導, 窯づくり, 3(3)の指導 講義					
③ 業務の形態: デザインから品質管理まで幅広い指導が必要。とくに 新入技術者に対する指導とカウンターパートの育成 への工場や、訓練所へも出張指導が必要である。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象者は 10代後半~20代前半女性, 学歴は低い。カウンターパートは Sni Jayawardanapura 大学(化学)卒 30歳					
⑤ 現地で利用できる機材: ボールミル, プラウブレス, 真空土練, かくはん機, 電気3(3)台, 機械3(3)台, 薪窯2基, 電気窯4基, 石膏3(3)					
⑥ 第3国人等の配置状況: 2人1人					
⑦ 使用する言語: シンハラ語 英語 (訓練指導はシンハラ語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同セクターは、スリランカ唯一の官営陶器工場かつ90%以上が女性であり 日本の技術者などが入り、輸出産業にまで育つことを希望である。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 陶磁器専門学校卒					
※ 事務局記入 230					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 元年 3 月 2 日

調査者氏名 堀内好夫

(14988001)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名*
チュニジア	(現地公用語) Céramique (日本語) (201) 陶磁器	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	平成 2 年 2 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministère des Affaires Sociales, Office de la Formation et de Promotion (日本語): 社会事業省職業訓練局 Professionnelle					
② 隊員勤務先名称: Centre de Formation Professionnelle de EL JEM 日本語名称(エム・ジエム職業訓練センター) 所在地: Rue Mohamed Ali 5160 EL JEM 主要都市(チュニス)から185 キロ					
③ 事業規模及び内容: 1970年に設立された同訓練センターは敷地面積12ヘクタール、生徒数104名、教員数10名、16才以上の青年が全寮生で2年間訓練を受けた職業訓練校である。9つの科をもっている。資料の予算は今年約1720万円である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 写真参照					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教官(Formateur)					
② 技術の範囲: 陶磁器の製造技術一般, デザイン					
③ 業務の形態: 隊員は午前8時から12時まで午後13:30~16:45までの月曜日から金曜日まで週32時間勤務することになる。そこで同僚のチュニジア人とともに10名前後の学生に教官として技術指導を行なう。水はたまに断水するが、それほど問題にはなっていない。水質は硬水である。カルシウム、塩分が多量に含まれている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 学生10名前後、16才以上、素人、カウンターパートの経験年数は8年					
⑤ 現地で利用できる機材: 3x3機械 Shimpo WHEEL 21 3台 Naber (ドイツ製) 焼かス / Ratcliffe					
⑥ 第3国人等の配置状況: ナシ					
⑦ 使用する言語: 仏語、(チュニジア方言アラビア語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
日本の陶磁器技術は世界的にも有名であり、その技術の一端をチュニジアの陶磁器技術に取り入れ、観光収入を上げたいと考えている。チュニジアには比較的有名なナポール焼というものがある。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○ 実務経験4年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

平成 元年 3月 / 日  
 記入 昭和

調査者氏名

87210  
 273-8916 (201)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
273 タンザニア	(現地公用語) CERAMICS (日本語) 陶磁器 201	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 既設	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	2年 / 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): PRIME MINISTER'S OFFICE (日本語): 総理府					
② 隊員勤務先名称: KILIMANTARO REGIONAL DEVELOPMENT OFFICE 日本語名称(キリマンジャロ州開発庁) 所在地: SAME 主要都市(モシ)から 100キロ					
③ 事業規模及び内容: 現在日本の無償技術協力として KILIMANTARO INDUSTRIAL DEVELOPMENT CENTRE (KIDC) の一部として窯業育成プロジェクトが実施されている。無償援助で建設された工場には日本人専門家と隊員によって日用食器製作を通じて技術移転が進められている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 工場内には電気窯の他 砕石機、乾燥機、3つ他一式が備わっている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 技術アドバイザー					
② 技術の範囲: 窯業一般に対する知識、特にプリントによる色付け焼付けの知識のある人					
③ 業務の形態: 同工場が稼働してから4年目に入り、日用食器生産は軌道に乗ってきた。来年度からは窯業用ガイシ生産も開始される。当工場には全体でみる工場所の他に同様のJICA専門家がおり、隊員は工場内の細部に渡りアドバイス、マーケティング、新製品開発、原材料調査、他の村落への普及等幅広い業務についてかなり自主的に自由に活動できる。従って特定の窯業技術に必要なのは隊員らしい現地と根づいた発想、発言、行動が望まれている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 20~35、多くの隊員はある程度の技術を身につけてきている。					
⑤ 現地で利用できる機材: 電気窯、砕石機、プリント焼付け、真空練土機他一式備わっている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 日本人専門家1名					
⑦ 使用する言語: スワヒリ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 従来、日用食器生産を通じて全く無知の村民に対し初歩的技術の育成とある程度は、現在ではある程度熟練してきて製品も安定生産できるようになった。今後更に技術の向上をかけることと、生産品の商売としてのマーケティング、又、市場調査の結果として適切な商売の開発等かなり自由な立場でアドバイスすることを目指している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○専門学校卒以上 実務経験のある人					
※ 事務局記入 232					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ~~昭和~~ 平成 元年 3 月 7 日

調査者氏名 田中敏裕  
(63/2 往田志)

32889004

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ドミニカ共和国	(現地公用語) Ceramica (日本語) 201 陶磁器	新規 <u>交替</u>	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	90年2月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Fundacion Dominicana de Desarrollo (日本語): ドミニカ開発基金					
② 隊員勤務先名称: Asociacion para el Desarrollo de Provincia Espailla 日本語名称(スペイン語) 開発協会 所在地: Presidente Vasquez 52, Maca, Espailla 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 開発基金は農業, 小企業への融資, 美術工芸品開発などのプロジェクトをもち, 当国の民間開発機関としては大規模かつ長期にわたる活動を行っている有数の機関である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: ドミニカ開発基金よりスペイン語開発協会へ派遣されている					
② 技術の範囲: 陶磁器全般の技術指導員 釉薬試験, 調合, 成形, 加飾					
③ 業務の形態: 釉薬生産工場において新釉薬の試験開発と地域の陶工たちに対する釉薬調合, 加飾, 製品開発に関する技術指導講習を行なう。 各工場の巡回指導も行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 地方の陶工対象 成形技術はある程度あるが, 加飾, デザイン面にやや弱い。					
⑤ 現地で利用できる機材: 小型電気窯, 小型ガス窯, 半自動式電気ロクロ ボールミル(大, 小各1個)					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: これまで人形生産一辺倒であった陶器産地において, 本来の一般磁器, 工芸品に注目を向けさせる。加飾技術, デザインなどの指導がもっと必要であり期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 陶磁器全般の知識, 釉薬調合の知識, 加飾・デザイン知識, ロクロの技術(実務10年程)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ~~昭和~~ <sup>平成</sup> 元年 3月 10日

調査者氏名 山際 秀雄

34088006

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
グアテマラ	(現地公用語) CERAMICA.	新規	(男) 1人	2年 2月	
	(日本語) 陶磁器 (201)	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Trabajo, INTECAP (日本語): 労働省 職業訓練庁					
② 隊員勤務先名称: INTECAP 日本語名称(職業訓練庁) 所在地: グアテマラ市 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 一次産業(農林水産) 二次産業(工業) 三次産業(商業)に分れ、夫々労働者への職技術指導を行っている。常設の訓練校は5校在り。その他、市町村の11ポストに、臨時の訓練所を開設している。年間の受講者は約800人。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 職業訓練所 陶磁器工士のインストラクター					
② 技術の範囲: 現在、本国で作られている陶器は、土質に問題があるため、ろく壊れ易い。このため、良質な土の調査発掘と他、陶磁器作りの全般的な技術指導。					
③ 業務の形態: 本国は土の調査、発掘を行うことが主な業務となる。 その後、あまは同時併行で、INTECAPの職業訓練所において、良質の陶磁器作成の技術指導を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし。					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在、グアテマラで作られている陶器は、手作的には低製品として興味深いものであるが、材料、製作技術の面では劣っている感は存しない。このため、良質の陶磁器作りのKNOW-HOWについて、協力隊員に期待すると云う大である。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 陶磁器製作に当る者の材料 - 土 - に関して、基礎的な知識及び陶磁器製作の全般的な知識(特に学歴、経験は問はず)。 ○ 材質(土)分析が出来ること。					

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

407018

記入 昭和 63 年 9 月 11 日

調査者氏名

表伸一 郎

340-88102

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
グアテマラ	(現地公用語) CERAMICA (日本語) 201 陶磁器	新 募 交 替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	年 月 9 月 11 日	
(1) 配 属 先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTERIO DE DESARROLLO URBANO Y RURAL (日本語): 開発省					
② 隊員勤務先名称: Centro Regional de Salama 日本語名称(開発省セラマ事務所) 所在地: セラマ 主要都市(グアテマラ)から 210 キロ					
③ 事業規模及び内容: 開発省は 1986 年に出来た新しい省で、村落開発を手掛けている。 セラマ事務所はバウバラス県のセラーオフイスとして、各地の都市、町村の支所と連絡をとりながら、村落開発指導をしている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 隊員の活動現場となるラビナル村の陶磁器作業場は、 407018、ブリックを積んだ薪炉 1 基のみ。					
(2) 隊員の業務内容 陶磁器指導					
① 隊員の業務上の地位: 陶磁器指導員					
② 技術の範囲: 原料の吟味、成形(4070)、焼成、釉薬、窯炉等全般の指導が望ましいが、炉に火をつける電気炉購入も考えられる。					
③ 業務の形態: セラマ事務所より 26km 離れたラビナル村にある作業場で、17-18人が専任で、 野営に近い開け窓(ブリックを積んだ中に製品を入れ、土をトングで取り、薪で 5 時間)で民芸品(灰皿、絵皿、つぼ等)を製作、販売しているが、炉や釉薬等の改善により、製品の質を高められることが期待されている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 40代の村民					
⑤ 現地で利用できる機材: 407018、ブリックを積んだ薪炉 1 基					
⑥ 第3国人等の配置状況: ない。これまで以前はアメリカ人の指導員					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 技術的には高度なものは求めず、村の伝統的なものを尊重しながら、質の改善を期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ・ 墓石をばらで OK					
※ 事務局記入					

235



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

07-109

記入 昭和 62 年 3 月 15 日

調査者氏名

西村喜継

03186109

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) bamboo crafts	新規	(男) 人	63年3月	
	(日本語) 210 竹工芸	交替	(女) 1 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Federal Land Development Authority (Felda) (日本語): 連邦土地開発公団					
② 隊員勤務先名称: Felda Troleh Selatan 日本語名称(フルガ) トローラセラン 所在地: 総 主要都市(KL)から110キロ					
③ 事業規模及び内容: Feldaはシングルを開墾し、ゴムや油ヤシのプランテーションを行なう入植地を300以上持った公の機関。1入植地には300~500戸の入植者が居住し、ゴム・油ヤシにより生計を立てている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 竹工芸に関する設備は有り。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 竹工芸の先生					
② 技術の範囲: 竹を利用した販売目的の工芸品の製作ができる。竹の性質に合った商品開発ができればなお良い。					
③ 業務の形態: Felda入植地の主婦を対象に、竹工芸のクラスを開き教えると共に、優秀な者を組織して販売用竹工芸品製作のためのワークショップの開設及び運営を指導する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は入植者婦人。					
⑤ 現地で利用できる機材: 簡単な道具類。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: マレーシア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ゴムや油ヤシの価格の下落により、Feldaとしては副収入の道を模索しており、婦人の副収入源として職工芸、手芸等が奨励されており竹工芸もその一環として販売用を目的に期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 竹工芸の業務経験1年以上。					
※ 事務局記入					

236

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

108

記入 昭和 62 年 11 月 14 日

調査者氏名

八林明生

03186108

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Bamboo Handicraft (日本語) 竹工藝 210	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	62年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Federal Land Consolidation and Rehabilitation Authority (日本語): 連邦土地統合整備公団					
② 隊員勤務先名称: FELCRA Kelu Berang 日本語名称(マレーシア語) (マレーシア) 所在地: Kelu Berang, Trengganu 主要都市(クアラルンプール)から 20. キロ					
③ 事業規模及び内容: FELCRA Kelu Berang は 20 家族位の小規模入植地 周辺に 20 以下 4700 入植地 更に 2000 以下 入植地 開発を 進行 及び 計画 中 20 スキームに 現在 ワークスツップで 準備 中 である 主眼 力 カ ウ ン ター パー ト の 研 究 会 に 入 社 計 画 中 である					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 現在 建造 中 車 庫 完成 予定 基礎 的 な 機 材 は 算 入 済 済					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 竹工藝教師					
② 技術の範囲: 北 洋 物 産 市 販 目 的 の 竹 工 芸 一 般 を 入 植 者 に 推 奨 中 FELCRA Kelu Berang は 竹 工 芸 協 会 の 管 理 運 営 に 付 け ば 可 能 な 限 り 求 め 中 である 様 に 竹 工 芸 材 質 は 良 好 である					
③ 業務の形態: 商 品 価 値 の 高 い 生 産 が 望 望 中 である 商 品 推 奨 の 対 象 と して 入 植 者 子 弟 現 在 竹 工 芸 協 会 の 研 究 会 に 入 社 計 画 中 である 彼 等 を 中 心 に 他 の 入 植 者 子 弟 等 へ 希 望 者 へ の 訓 練 と 研 究 会 に 入 社 計 画 中 である 日本 の 竹 と 同 じ 点 工 芸 難 しい 点 は 当 地 の 竹 組 織 は 一 部 地 域 を 整 合 体 質 である 20 スキーム 竹 工 芸 材 質 は 良 好 である					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 20 歳 前 後 入 植 者 子 弟 運 営 管 理 員 FELCRA Kelu Berang					
⑤ 現地で利用できる機材: 基礎 的 な 機 材 は 算 入 済 済					
⑥ 第3国人等の配置状況: ナシ					
⑦ 使用する言語: マレー語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 竹 工 芸 産 品 の 価 値 の 高 い 点 は 20 年 以 上 の 大 規 模 市 場 が あり 長 期 向 輸 送 に 耐 える 商 品 価 値 の 高 い 点 は 産 業 界 に 積 極 的 に 関 心 持 ち たい 期 待 中 である					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 竹 工 芸 実 務 経 験 1 年 以 上 アイデア 豊富 である 工 業 地 帯 へ の 経 験 が 有 る こと である					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 9 月 7 日

調査者氏名

佐尾上、省二

646 87011

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Bamboo Craft	新規	(男) 人	年 月	
	(日本語) 210 竹工芸	交替	(女) 人 (男女不問) 1 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ruperto K. Kangleon Memorial Agro-Fishery Technical Institute (日本語): ルパルト カンガレオン記念農水産技術大学					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称(同上)					
所在地: Bomboc, Southern Leyte 主要都市(970バタン)から130キロ					
③ 事業規模及び内容: 教員数 30名、生徒数 610名(高校生-500名、大学生110名)、年間予算 1,500万円程の小規模大学。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別添写真及び in Students Handbook 参照					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 技術顧問					
② 技術の範囲: 竹・藤工芸、各工芸品の製作技術。					
③ 業務の形態: 現地で入手できる原材料を利用し、竹・藤工芸品の製作に係る技術指導をカウンターパートに行なう。 これらと共に、家政科の生徒及び周辺農民への技術指導をカウンターパートと共に行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者: 女子高校生及び周辺農民、カウンターパート: 18年間手芸を教えている。但し、竹・藤工芸の技術は、有っていない。教育学部修士卒。40才程度。女性。					
⑤ 現地で利用できる機材: JICAの無償資金協力により手芸・木工分野の機材が提供される。別添 機材リスト参照。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語、セブアノ語(セブ島と同じ言語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 手芸を中心とした授業を行なっている同窓家政科に竹・藤工芸を導入することにより授業内容の充実・向上が求められている。 これらと共に半農半漁として生計を立てている周辺農民に竹・藤工芸技術を紹介することにより増収の道を開き、生活改善の一助となることを期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○ 基本的な竹・藤工芸品の製作が可能な者。					
※ 事務局記入					

235

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ~~平成~~ 元年 3 月 15 日

調査者氏名 佐々木 聡

04689006

受入希望国名	受入希望業種 (現地公用語)	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	Bamboo Craft (日本語) (2/10) 竹工芸	<del>新規</del> 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	年 月 可及的速やか	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Polytechnic State College of Antique (日本語): アンティケ工芸大学					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称(同上)					
所在地: アンティケ州 シバロム 主要都市(ロイロ)から120キロ					
③ 事業規模及び内容:					
学生数2000人(含高校部,大学部) 教員数103名。教員養成コースとIndustrial Artsコースがあり、竹工芸は後者の一学科。職業教育を主にしている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
別添写真参照の事。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Handicraft Instructor					
② 技術の範囲: 竹工芸の実践的技術。竹材の防虫方法。竹組工のデザイン。 竹製家具(テーブル, 椅子)の製作。					
③ 業務の形態:					
カウンターパートと共に週10時間、約100名の学生に実技指導をする。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: <sup>生</sup> 学歴16才~20才 カウンターパートは29才、同校で竹工芸を学んだ。インストラクター歴4年。					
⑤ 現地で利用できる機材:					
基本的道具、別添写真参照					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし。					
⑦ 使用する言語: 英語, キナライア語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
竹材は地元豊富にある事から、竹工芸技術を身につければ、自営で収入の道がひらかれる。職の少ない同地域で自給でき、地元の活性化につながるとして同校では学生数の多い課目である。現在はインストラクター1名で、技術的に伸び悩みの状態であり、JOCVの導入によってグレードアップを希望している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
竹工芸の(実践的技術)を有すること。経馬倉3年以上が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 8 月 10 日

調査者氏名 和泉 守

221-88-105

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
インドネシア	(現地公用語) Bamboo Works	新規	(男) / 人	元年 4 月	
	(日本語) 210 竹工芸	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Labour and Social Affairs (日本語): 労働社会事業省					
② 隊員勤務先名称: Children's Amba Village 日本語名称(アンバ子供村)					
所在地: シワツ州 アンバ 主要都市(アタス)から 200 キロ					
③ 事業規模及び内容: 戦争孤児、身寄りのない子供約 5,000 人に対し、約 1500 人のスタッフが養護にあたる一大家族村である。 約 4200 ha の敷地内には全ての設備がある。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): ワークショップ、病院、学校等、5 村よりなっている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 技術指導者					
② 技術の範囲: 高度な技術は必要としないが、竹工芸、細工に関する幅広い技術と知識、応用力。					
③ 業務の形態: 竹工芸ワークショップに於て、現地職員及び学生(主に高校生で作業実習)に対し、基礎的な技術指導から、各種新しいデザイン編み方などの幅広い指導を行う。 職員は先ず自分が見本となるものを作り、それについて指導を行うこととなる。又、今後は販路ルートの開発、確立について指導、助言を行う。					
) 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 現地職員 3 名、小卒程度 20~40 才 小さい時から経験的技術					
⑤ 現地で利用できる機材: 一般的道具(ナタ、ノコギリ等)					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: キューバ人 隊員 2 名(農業機械、冶金)					
⑦ 使用する言語: アムハラ語、英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 将来的には、技術学校開設を目指しており、今からしっかりした技術を持った人を育てる必要がある。 優れた技術力を持った日本人による継続的な指導を望んでおり、その期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 高卒以上 2~3 年の経験のある人					
※ 事務局記入					

240

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup>昭和 元年 3月 12日

調査者氏名 松山 博文

32289005

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
コスタリカ	(現地公用語) Artesania de Bambú	新規 交替	(男) 人	年 月	
	(日本語) 210 竹工藝		(女) 1 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Agricultura y Ganaderia (MAG)					
(日本語): 農牧省					
② 隊員勤務先名称: Oficina Local de MAG, Hojancha 日本語名称(農牧省ホアンチャ支局)					
所在地: ホアンチャ, プアサカステ県 主要都市(首都)から300キロ					
③ 事業規模及び内容: 農牧省管轄の地方支局で支局長以下7名の職員が野菜栽培, コーヒー栽培, 家畜飼育, 地域住民の組織化に関して活動している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所兼作業場(500m <sup>2</sup> ), エアコン(2台), オートバイ(2台)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 竹工藝の指導者および農牧省のスタッフ					
② 技術の範囲: 竹工藝全般の指導ができる事					
③ 業務の形態: ホアンチャ支局の事務所でホアンチャ市周辺在住の農村婦人を対象に竹工藝の指導をし, 作品の販売も手掛ける。 当初は竹材の選定や運搬および保管といった竹工藝に関する全ての業務を行なう必要がある。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 農村婦人が対象。カウンターパートでは無いが農牧省勤務の職員が補佐として活動する予定					
⑤ 現地で利用できる機材: エアコン(2台), オートバイ(2台), スライド映写機(1台) 竹工藝に必要の道具一式を5人分ぐらい本邦購送し, あとは現地生産で対応していく事が望ましい。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 雇用機会不足による人口流出に伴ない1972年1万4千人であった人口が1988年には6千人に減少したホアンチャ市では人口流出を防ぐと共に雇用が皆無の婦人に対し経済活動を与えるため農牧省が中心となって種々の対策を講じており, 隊員への期待は必然的に大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 特に無し。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 2 月 2 日

調査者氏名 小畑 泰之

364-86-111

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグアイ	(現地公用語) Trabajos de Bambu (日本語) 210 竹工藝	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	63 年 2 月 6 年度 2 次隊	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Justicia y Trabajo (日本語): 司法省内部					
② 隊員勤務先名称: Servicio Nacional de Promoción Profesional (SNPP) 日本語名称(職業振興局) 所在地: アスンシオン市 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 人材開発、技術者の育成、地方開発に資する中堅技術者の育成を目的として、世界の最貧国に 54 設けられた職業訓練機関、技術者の補充、人材育成に努めることに決意。職年算定約 1 億円。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 管理棟、木工機械、電気、印刷等の研修棟、実験教室用の特殊電線、転写機、地方での巡回指導に活用されている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 専門技術者の指導員					
② 技術の範囲: 籐、竹を原料とした日用品、生活用品の製造に技術指導。輸送					
③ 業務の形態: 豊富に成育する竹を利用した日用品、生活用品の製造と販売を以てしてはじめる。輸入能力を向上させるには、生産を標準に技術指導を行う。輸送コストの削減も重要な任務となる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 竹工藝の研修コースがあるため、輸送コストも安い。階級制があり、職年算定約 1 億円。未経験者。					
⑤ 現地で利用できる機材: 既に持っているものは、階級制があり、職年と相談して工作機材、輸送コスト削減に必要な機材を揃えることになる。					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: 現地には日本籍 (印刷)、その他栽培、陶器、木工等が配置されている。					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国には、豊富な竹資源があるが、既製品工業の素材としての利用がされていない。年々拡大するパラグアイの工業需要に供給不足となるおそれがある。竹を原料とする日用品を育成し、地方産業の育成に資したい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○ (稟議を以て馬車 2 年以上)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 9 月 11 日

調査者氏名

八 林 明 生

03186020

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Furniture Instructor (日本語) 家具工	新規	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年 7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Home Affairs (日本語): 内務省					
② 隊員勤務先名称: Drug Treatment & Rehabilitation Centre 日本語名称(麻薬治療センター) 所在地: Pusat Serenti, Sp Petani, Kedah 主要都市(107km)から 75 km					
③ 事業規模及び内容: 麻薬中毒者の治療及びリハビリを行う。本年5月10日開始の新センター。18名から25名程度の入所者に後帰後就職の促すための職業訓練指導あり。収容数1800人。コースは4ヶ月づつ、4コースを行う。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 各24-1共最低2年入所と排せき宿舎併設 体育館 職業訓練用施設 農場等がある 軍用建物・構外観。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 講師					
② 技術の範囲: 基礎的な家具の理論 実技指導。アイデアを話かけた製作指導等 している 道具の使用から完成迄。					
③ 業務の形態: 1日2コース 40人訓練生。理論20% 実技70%。調査時点では教師の割合は不明。一般的に教育省から出向教師を中心に4人の職種と同様に2コース作成。入所時から1週間に1回50名程度、1週毎に指導がある。これは4班を順次職業訓練指導指導を行っている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 既述のとおり不在であった為不明。本省からは同僚教師をカウンターパートと見なす。					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無 但し 相当部野によれば ASEAN各国から実習に来る者あり					
⑦ 使用する言語: マレー語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: マレーシアの麻薬中毒者は10万人(一般に1000~50万人)。4ヶ月前の急増のペースに間に合っていない。麻薬量に人権と法律がある等厳しく取締っているが年々増加している。今年度から2000人程度の収容となり入所後の再入所が少なく(20%)。生活安定が再発防止に効果的だと担当局長が内務大臣にその旨を首相の傍ら要請を受け、自らの要請の公認には動き出した程 期待は大きい					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 高専卒程度の教育経験のある者。忍耐強くマレーシアでの経験があれば更に良い。					
※ 事務局記入					



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

04088021 (A)

記入 昭和 63 年 9 月 23 日

調査者氏名 鮎川 達

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール王国	(現地公用語) Wooden Educational Material (日本語) 211 木製教材 (木工)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 人	64年 01月 0	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Industry, Dept. of Cottage & Village Industry (日本語): 工業省 家内工業局					
) 隊員勤務先名称: Handicraft Production Division 日本語名称(手組工生産部)					
所在地: カトマントウ 主要都市( )から キロ					
② 業規模及び内容: 家内工業局はカトマントウ本部にある, 技術訓練部(200名)と生産部, 手組工生産部と 4 地域南設事務所及び 70 ティストウ南設事務所からなり, ネパールの家内工業振興に努めている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 3rd class Officer.					
② 技術の範囲: 木製教材の知識, デザイン能力, 試作品の作成能力					
③ 業務の形態: 木製教育教材の調査・研究を行う。ネパールの教育に適した教材の選定, デザイン, フェルマ製作を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 隊員取屆時決定					
⑤ 現地で利用できる機材: あり					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: ネパール語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
教育用教材はほとんどないネパールにおいて, 木材を利用して子供用教材(積木, アルファベット, 算数用等)の開発は重要である。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○ <del>専ら</del> 専ら以上 ○ 技術の範囲の能力がある ○ 経験2年以上					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 元年 3 月 2 日

調査者氏名 堀内好夫

(14988003)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
チュニジア	(現地公用語) Sculpture sur bois (日本語) (211)木工	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	平成 2年2月	
(1) 配属先 (木彫刻)					
① 配属先名称(現地公用語): Ministère des Affaires Sociales, Office de la Formation et de Promotion (日本語): 社会事業省職業訓練局 Professionnelle					
② 隊員勤務先名称: Centre de Formation Professionnelle en 日本語名称(家具職業訓練センター) 所在地: Centre d'ameublement Monastrie (ameublement) 主要都市(チュニス)から152キロ					
③ 事業規模及び内容: 1968年に設立された同訓練センターは木工関係の職業訓練所で、生徒数95人、教員7名、技術科の高校を卒業した17才以上の青年が訓練を受けている。6つの科があり、クラス15名、18ヶ月間1824時間の授業					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): を受講することになっている。食堂、寄宿舎があり、すべて無料。 写真参照。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教員					
② 技術の範囲: 木彫刻の基礎から応用、デザイン					
③ 業務の形態: クラス15名程度の学生に対し、月曜日から金曜日まで週32時間約一年半(18ヶ月)合計1824時間教える。 はい生徒は木彫刻の基礎を実習を通して学び、最終的にはルイ14世紀時代のイスの彫刻、額縁、鏡の額縁の彫刻技術等まで勉強する。したがって隊員は木彫刻一般技術からヨーロッパスタイルの彫刻まで手がけることになる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 17才以上で、高校の技術科を卒業しているため、素人では足りず。					
⑤ 現地で利用できる機材: ノミ一式(18種類)は各生徒1人々に貸し出している。					
⑥ 第3国人等の配置状況: ナシ					
⑦ 使用する言語: 仏語、(チュニジア方言アラビア語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国では青少年の雇用、失業対策が一番大きな問題とされており、その一環として職業訓練に力を入れており、今回の要請もその延長にある。さらに日本の木彫刻技術を導入し、技術レベルを高めたのを望んでいる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で明くこと): 経歴 4年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 昭和三十九年 3月 9日

調査者氏名

大芝博明

28389003

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガンビア	(現地公用語) WOOD WORKING (日本語) 2/1 木工	新規 <b>交・替</b>	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	平成 元年 12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): KITWE DISTRICT COUNCIL					
(日本語): キトウェ市役所					
② 隊員勤務先名称: KITWE YOUTH VOCATIONAL TRAINING CENTRE 日本語名称(キトウェ青年職業訓練所)					
所在地: BUCHI KITWE 主要都市(KITWE)から 5キロ					
③ 事業規模及び内容: キトウェ青年職業訓練所には木工科、自動車科、電気科、板金溶接科、農業科があり各科に18人前後の訓練生を一年間にあたり職業訓練及び工場実習を行なう。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 実習場の広さは幅 4.5M x 長さ 16M の7-ルーム形で木工機械は、学科勉強時は別棟モルタルに7-造りの新校舎がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: テクニカル アドバイザー					
② 技術の範囲: 木工全般の知識と木工機械なしで、手工具のみで家具製作ができること					
③ 業務の形態: 訓練生に対する木工技術指導及び製図等の学科を教える併せてカンパルトにもテクニカル アドバイスを行なう。木工工場のリ-サケ、金物商後のリ-サケ、木材リ-サケなども行ない、就職先工場実習先などもあがる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 訓練生は、中学卒業程度で年齢は18-22才、カンパルトは高等職業訓練卒である。					
⑤ 現地で利用できる機材: 西洋式 かんざしのみ、他手工具、電動工具はドリル、グラインダーだけ					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ガンビアの木工業界の製品はまだまだ十分な品質が確保できていない。この為職業訓練校での基礎から応用までの木工技術修得により、木工業界全体の技術レベルアップと技能士の養成を期待される。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
二級木工技能士又は三級建築大工技能士程度(経験要)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 9 月 1 日

調査者氏名

飛高正志

41988101 木工 (211)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
西サモア	(現地公用語) Carentry (日本語) 木工科(教師)	新規 <u>交替</u>	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	64年7月	
(1) 配属先 (211)					
① 配属先名称(現地公用語): Ulimasao College (日本語): ウリマサオ中学校					
② 隊員勤務先名称: 上記と同じ 日本語名称( )					
所在地: Vailoa, Palauli, Savaii 主要都市(アピア)から40キロ					
③ 事業規模及び内容: 生徒数 300人程度、カリリフ系中学校。技術科(木工・溶接・金属加工・自動車整備)が設けられ教育4人 A/C 技術科長 1名、計5名で運営					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 教室、職員室、実習場、倉庫等					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教師					
② 技術の範囲: 木工技術全般。〈5打ちによる家具の組立。〉					
③ 業務の形態: 木工、講義と実習指導を同校で行う。週に35時間の授業を担当する。 生徒は12才~23才の300名いるが、技術科も履習(2.3才)1730名以内。技術科は設立2年目であり、科の定員不足のため、あり指導要項も明確でない。技術科は木工科と機械加工科とに分れているが、設備都合で授業は自立でかまわない状況である。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 無し。					
⑤ 現地で利用できる機材: 木工手工具・機械工具等必要なもの一通りそろっている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: ニュージランドからボランティア3名。隊員が金属加工科に1名。					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 木工の実務経験も持っている教師が不足している為、隊員の要請となっている。単に木工技術のみならず、教師としての教養も有しているのが期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 木工専門学校卒業以上。実務経験あることが望ましい。 自分でシラバスやカリキュラムを工夫できること。英語で授業もできること。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

平成 昭和 元年 3 月 14 日  
記入

調査者氏名 中村正明

425 88102

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
VOT 諸島	(現地公用語) Carpentry	新規 交替	(男) / 人	/ 年 / 2 月	
	(日本語) 木工 (211)		(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Transport, Works & Utilities (日本語): 運輸公共事業者					
② 隊員勤務先名称: Joinery Workshop 日本語名称 (木工部作業場) 所在地: Honiara 主要都市 ( ) から キロ					
③ 事業規模及び内容: 中央政府の公共事業を担当し、道路、橋、飛行場等の維持管理、 公共住宅、ホテル等の建設及び修繕、電気水道の管理、車両の整備、家具作成、 船舶の運転、保安等を実施している。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 平成元年 4 月に新規に日本政府より約 2 億 8 千万円の 建設用機械が供与される。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Trainee Carpenter					
② 技術の範囲: 大工作業全般、建具、家具の設計、製作					
③ 業務の形態: 木工部に勤務し、上級訓練生に対し、公共住宅及び一般所に 供給する建具、家具等の設計、製作を訓練指導する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 上級訓練生 (16~28 歳) 簡単な家具は作る。					
⑤ 現地で利用できる機材: 木工用機械、器具、工具は一通りそろっている。					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: 同省の中堅幹部、且大部分が豪人、英人等の技術者、 ⑦ 使用する言語: 英語、バソコ英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同省に多くの外国人が勤務しているがその大部 分は行政官で、実際に必要とされる技術者を指導できないのが、 又導入している大部分の機械類は日本製で JOCV 隊員の派遣 に強く希望している。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): ○実務経験 3 年以上 ○専門学校卒業					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 10 月 14 日

調査者氏名 小松 延 司

01388104

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
中国	(現地公用語) 皮鞋製造	新規 交替	(男) 人	64年7月	
	(日本語) 213 皮革工芸		(女) 人 (男女不問) 1人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): 中国辽宁省大连皮革厂					
(日本語): 中国辽宁省大连皮革工場					
② 隊員勤務先名称: 中国辽宁省大连皮革厂 日本語名称( )					
所在地: 大连市西岗区高第街24号 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 1927年設立(日本法第)。従業員1800人。技術者56名。年間110万足生産。各種皮鞋製造、一部縫紉加工を兼行している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別添の通り					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 工場の技術者として					
② 技術の範囲: 女性用(着靴等)の靴靴デザインの靴製造技術の改良を行う。(可能な限り靴履品傾向と)					
③ 業務の形態: 女性用(着靴等)の靴靴デザインの靴製造技術の改良を行う。同工場の技術者に対し、そのための技術指導を行う。特に靴靴用の特殊リッパの品質改良指導と指導に強い要望がある。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
16人の技術者がある。					
⑤ 現地で利用できる機材:					
一定揃っている。一環してライフルを修理している。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 野崎靴靴工業と技術交流している(日本メーカー)					
⑦ 使用する言語: 中国語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
同靴靴工場は、戦前日本帝國陸軍の靴靴工場として27年設立。今日までいながら、技術的には、日本の10~15年位前のレベルに達している。現在、野崎靴靴工業の工員として、その技術の向上に協力し、高品質の靴靴を製造している。今後、日本協力隊員を希望している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
専ら学校卒業経験 3年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

新-11

記入 昭和 63 年 9 月 26 日

調査者氏名 鮎川 遼

04088115

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール王国	(現地公用語) Automobil Body Work (日本語) 自動車板金(221)	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	1989年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Public Works and Transport (日本語): 公共事業運輸局					
② 隊員勤務先名称: Sajah Yatayat Corporation 日本語名称(バス公社) 所在地: Pulchok Kathmandu Nepal 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: バス約100台(日本製90台、自製10台)を有し、 カトマंडゥ市内のミニバスとして運行している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 必要な設備は整っている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: メカニック					
② 技術の範囲: バスの板金、塗装					
③ 業務の形態: バスの板金塗装と現地メカニックに対する指導					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: メカニック、グレード-2 高卒 経験年数 10年 35才					
⑤ 現地で利用できる機材: 必要な機材は一樣と伺っている					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし、日本人専門家1名、JOCV 2名					
⑦ 使用する言語: ネパール語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現地メカニックの技術が低いため、現存するバス のボディーワークが不十分である。したがって現地メカニックの技術向上 を図る必要がある。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○ 経験3年以上					
※ 事務局記入 250					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 9 月 1 日

調査者氏名

飛高正志

41988102

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
西サモア	(現地公用語) Panel Beating (日本語) 自動車板金 (221)	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	64 年 7 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Public Works Department (日本語): 公共事業省					
② 隊員勤務先名称: Vaitele Workshop, Panel Beating Sec. (日本語名称: オパール整備工場) 所在地: Vaitele, Apia 主要都市 (アピア) から 5 キロ					
③ 事業規模及び内容: 普通車、大型車、車機、各整備部門、電装、板金溶接、機械工作等、各部門を有し、従業員約 100 名、国営工場である。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): オイル、倉庫、部品庫、作業場等、必要は設備は有る。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 自動車板金部門の責任者 (supervisor)					
② 技術の範囲: 自動車板金、塗装技術、加工板金技術、修理板金もあるが、自動車の外板を平板より加工に取付けることが多い。					
③ 業務の形態: 上記整備工場に勤務し、チーム技術者とともに修理業務に従事しつつ指導を行う。勤務時間は 8:00 AM ~ 4:00 PM。自動車外板の交換は、平板から加工の自動車外板への作業。その他ラジエーター修理、各種溶接等、加工作業がある。部品交換が不可能な為、手作業で何でも加工することが不可である。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: チームワーカー 5 人、技術レベルは低いが、平板加工技術は有る。					
⑤ 現地で利用できる機材: シェット、溶接機等、一通りそろっている。					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: JOCU の隊員が他部門に勤務している。					
⑦ 使用する言語: 英語、サモア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 伊藤正俊隊員の交替を以て要請した。役務提授型、期待過去 7 年間に渡り協力隊員が派遣地業務能力、技術指導、実績が高く評価されている。技術指導および部門の長としての指導、業務能力を以て修理技術に有ることを条件とされている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 自動車板金、塗装、実務経験 5 年以上有る、自動車板金全般に通じていることが望ましい。平板より自動車の外板を加工する技術が必要。					
※ 事務局記入					



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 元年 3 月 10 日

調査者氏名

飛高正志

41989001

受入希望国名	受入希望業種 (現地公用語)	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
西サモ	Panel Beating (日本語) 221 自動車板金	新規 <u>交替</u>	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	02年3月 元年3次隊	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Public Works Department (日本語): 公共事業省					
② 隊員勤務先名称: Salelologa Work Shop 日本語名称(サレロロガ整備工場) 所在地: Salelologa, Savaii 主要都市(アヒア)から 50 キロ					
③ 事業規模及び内容: 工場は 400m <sup>2</sup> 、敷地、総員16名、板金部門は4名の サモア人ワーカーが働いている。他に自動車(大型・小型)、重機、 整備部門がある。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): ヒット、ジャッキ、プレス等がある。事務所兼倉庫 整備工場がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 板金部門の責任者					
② 技術の範囲: 板金、塗装技術。他に鉄板からDPフェンダー 等も加工する技術が必要。					
③ 業務の形態: サバイ島で使用している公共事業省の車輛修理が主な業務。 自らが従事している。サモア人を指導する。部品、発注の手配も 行う。アヒアのサレロロガ整備工場への出張もある。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: サレロロガと呼ばれるのがサモア 人ワーカー3人とともに働く。20代、青年で溶接しているが加工、塗装はできない。					
⑤ 現地で利用できる機材: エンプレス、ディスクサンダー、ドリル、オービタルサンダー 板金工具、一般工具、アーク溶接機、ガス溶接機等がある。 必要な機材は一通りそろっている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: JOCVの隊員1名					
⑦ 使用する言語: サモア語が主に使用しているが、英語も使用可能。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 役務提供型。宅島隊員。交替要請。 サバイ島で使用している車輛の老朽化にともない、外板等、加工による 板金修理が増加している。サバイ島では技術者が少ない。JOCV隊員の 要請となっている。宅島隊員が初代で基礎を作ったように、継続 して隊員と必要としている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 年齢は不問であるが、経験が10年程度以上、隊員が望ましい。 <u>板金、塗装、ガス溶接の技術が当然として、半板金の加工技術が必要。</u>					
※ 事務局記入					

252

0

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 2 月 11 日

調査者氏名 和泉 守

22-88-011

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
エリビア	(現地公用語) Metal Work	新規	(男) / 人	64年3月	
	(日本語) 230 冶金	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Labour and Social Affair					
(日本語): 労働社会事業省					
② 隊員勤務先名称: Children Amba 日本語名称(インバ子供村)					
所在地: インバ 主要都市(アティス)から 2/0キロ					
③ 事業規模及び内容: 被災孤児の養護と教育を目的とした村である。					
4200ヘクタールの敷地、5つの村の5を占める。子供の数約5000人					
自給のための圃場や宿舍など47完備している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 6~8才児の村2ヶ所、7~18才児の村3ヶ所。					
各村に宿泊棟、教室、クリニックがある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: メタルコースの教師					
② 技術の範囲: メタルワークの知識、技術、それ程高度な技術は必要としない。					
③ 業務の形態: 5村のうち1村、メンギズラ、ハイマリヤム高校のメタルコースの					
教師として、メタルコースを運営した生徒の村に					
実習業務、レクチャーを行い、指導を行う。					
技術高校ではないので正式なメタル科はない。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: グレイト ~ の生徒					
14~18才					
⑤ 現地で利用できる機材: スライドプロジェクター、メタルワーク用手工具					
⑥ 第3国人等の配置状況: キューバ人					
⑦ 使用する言語: アムハラ語、英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
鬼れない子供達に何らかの技術を習得させ、社会に出るため。					
本子供村の重要課題である。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
専門学校卒、経験3年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 6 月 17 日

調査者氏名

黒田和博

34988115

ホンテュラス事務局長 印

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	台帳番号
ホンテュラス	(現地公用語) Metalurgia (日本語) (2.30)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 人	64年 月	

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): *Univercidad Nacional Autonoma de Honduras*  
(日本語): *ホンテュラス自治大学*
- ② 隊員勤務先名称: *Dpt. de Fisica, Lab. de Metalurgia* 日本語名称 (物理学科材料実験室)  
所在地: *Tegucigalpa, D.C* 主要都市 ( ) から キロ
- ③ 事業規模及び内容: *10年前前, アメリカの援助(OEA: Organización de Estados Americanos)で, 金学を中心, 目的として開設されたが, 其の後永らく休眠状態が続いていた。本年後, 後期より, 新たに開講する単科大学となり, 大学当局も, 整備拡充に乗り出した。*
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): *ホンテュラス唯一の総合大学で, おおむね全ての学部を備えており, 学生数30,000人 (内 工学部学生 8000人)*

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: *教師*
- ② 技術の範囲: *金属材料実験 (機械, 組織<マイクロ>, 事故損傷判定等), 溶射 (この国における利用法を考へ乍ら, 先生とともに, 卒業の学生に指導を行はう), 実験計画法*
- ③ 業務の形態: *1. 学生, 先生を対象に金属材料実験 (特に, 事故判定法については, 先生方の要望が大きい。)  
2. 卒業研究の学生, 教師とともに, 溶射に関し, 卒業研究として技術指導を行はう。*

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: *Victor Garcia (37) 工学士, アメリカに1年, 日本に3ヶ月の留学経験を持つ。材料専攻。 Jacob Nuyaro (38) 理学士, コロンビア大学に留学。物性論専攻*
- ⑤ 現地で利用できる機材:

別添(1)のとおり

- ⑥ 第3国人等の配置状況: *なし*
- ⑦ 使用する言語: *スペイン語 (カウンターパート2人に対しては, 英語でも可能)*

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

別添(2)のとおり

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① *金属材料実験が出来る事*
- ② *溶射に関して卒業レベルの指導が出来る事*
- ハ. *民間若しくは官庁, 学校等で, 実務, 研究経験があることが望ましい。*

※ 事務局記入

25

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup>昭和 元年 2 月 17 日

調査者氏名 佐々木 聡

04689007

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Welding	新規	(男) / 人	元年/2月	
	(日本語) (240) 溶接	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): National Manpower and Youth Council					
(日本語): 全国労働力青年評議会					
② 隊員勤務先名称: Regional Manpower Training Center, Batangas 日本語名称(バタガス地方職業訓練センター)					
所在地: P. Herrera St., Batangas City 主要都市(マニラ)から100キロ					
③ 事業規模及び内容: 自動車科, 機械科, 電気科, 溶接科, 配管科, 冷凍器科, かぶり, 4ヵ月間の職業訓練コースを年3回実施している。生徒総数180名, ② 内容溶接科は25名。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別添写真参照の事。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: インストラクター, ガス切断,					
② 技術の範囲: アーク溶接, ガス溶接, (TIG, MIGについては, カリキュラムに取り 入れているとしていたが機材が高価な為実際は設置不可能と思われる。知識として必要)					
③ 業務の形態: 通常は, 現在いるインストラクター2名と共に生徒の指導にあたる。また, カリ キュラムについて改善案を決定し, 実施する。実技だけでなく, 理論面の指導 用に視覚教材(OHP, 教材)等を作製する。実技に関しては, アーク溶接の指導が 主になっている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 生徒は16才~20才位で, 中学レベル。 カウンターパートは2名のインストラクター, Engineering系大卒だが溶接の専門ではない。内1名は					
⑤ 現地で利用できる機材: 溶接分野で10ヵ月間JICA研修を日本で アーク溶接機6台, ガス溶接機1台(故障中) 受けた経験がある。 その他別添リスト参照。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし。					
⑦ 使用する言語: タガログ語, 英語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: バタガス地方では, 首都への交通の便の良さもあり, 企業の工場進出が近年 盛んになってきた。これに伴い, 溶接工の需要も増加した。同訓練センターの卒業生 の多くは, 訓練終了後3ヵ月間のon-the-job-trainingを工場で行ない, 就職率も高くなっ ている。今後は, 基本的技術の向上と, TIG, MIG等に関する知識が要求されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 裏波溶接ができる事 ○経験3年以上					
※ 事務局記入					

255

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup> 昭和 元年 〇 月 〇 日

調査者氏名 安部 晋弘

052.89005

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) Welding	新規	(男) / 人	2年3月	
	(日本語) 溶接 (240)	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Youth Affairs and Sports (日本語): 青年問題 スポーツ 省					
② 隊員勤務先名称: National Youth Services Council (N.Y.S.C) 日本語名称 (国家青年活動評議会) 所在地: Batangala, Panawala 主要都市 (コロンボ) から 70 キロ					
③ 事業規模及び内容: 日本の官民協力で設立 (1ヶ本部 (2-3セクター) と 中Nと12 職業訓練所) IF全国に16ヶ所あり 青少年活動 育成事業と雇用対策に取り組んでいる。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 夜校学習棟, 男女宿舎棟, 事務所, 集会所, 食堂 職員住宅 6棟, 農場ほか 全敷地面積 45エーカー					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: インストラクター					
② 技術の範囲: 溶接, 板金, 金属加工 ほか 日本工業高校レベル					
③ 業務の形態: 訓練生, 職員と6セクター内に宿舎あり 午前 8:00 ~ 午後 4:30 まで勤務, 講義を行う。訓練期間は6ヶ月。訓練生および現地カウンターパートに対して基本的な一般知識と安全面での指導。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象者は 16 ~ 29歳 近隣の農村部出身の教育と実務に受け付けたい 未経験者。カウンターパートは 職業訓練修了程度。					
⑤ 現地で利用できる機材: 予-7 溶接機 3台, ガス溶接機 2台, ポリシ盤 1台, グライナー 1台, ハンドクランプ 1台, 1017ハンダ 1台, 112マニマシ 1台					
⑥ 第3国人等の配置状況: 1 訓練ボランティア 1名, 1 教員ボランティア 2名					
⑦ 使用する言語: シンハラ語, 英語 (訓練指導はシンハラ語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 雇用促進のため 直接就職に結びつく実務訓練を望んでいる。浅く広い一般知識 10ほどあり。村頭部の小工場の7-7dayの就職できるのが目的。N.Y.S.Cでは最も設備が整っている訓練所であり 隊員指導が 必要とされている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 工業高校卒 (経験3年以上)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup>昭和 元年 〇月 15日

調査者氏名 安部 晋三

05289004

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) Welding. (日本語) 溶接 (240)	新規 交替	(男) 1人 (女) 1人 (男女不問) 1人	2年〇月	
(1) 配属先 Ministry of Health & Women's Affairs					
① 配属先名称 (現地公用語): Department of Probation & Child care (日本語):					
② 隊員勤務先名称: Certified school, Makola 日本語名称 (マコラ少年院)					
所在地: Makola South 主要都市 (コロンボ) から 20 km					
③ 事業規模及び内容: 全国に4ヶ所ある少年少女更生施設のうち、当施設は、現在、おんの子 (12~16歳) の職業訓練を受け、更生し、社会へ送り出す。23人のスタッフと電気科、溶接、旋盤、木工コースがある。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 敷地はエーカー (水田エーカー)、古いグランド、木造宿舎棟、職人宿舎棟、食堂、トイレ、売場室 (複数) ー					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: インストラクター					
② 技術の範囲: 製缶工 基本的には溶接一般の知識と技術 バケツ、水タンク等を作る技術					
③ 業務の形態: 150人収容施設をもち、近年、所長の死亡にともない、事業が滞りつつある。今、1年以内の収容者訓練も適当にやるとして、一般隊員の派遣による、3ヶ月の職業訓練コースを開始するのと同時に、設備 (訓練用) は不十分であり、隊員派遣で基本的には専ら導入してやる。授業時間 8:00 am ~ 3:45 pm 3:45 ~ 6:00 pm は課外授業 (バッチ)					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 15~16歳を対象とし、基本訓練コース外は製缶まで未経験者。カウンターパートは電気工事のインストラクター (35歳)					
⑤ 現地で利用できる機材: 溶接機1台、旋盤1台、木工盤1台、Hydro pressure 台、電動ドリル1台、工具 10台					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し。					
⑦ 使用する言語: シンハラ語、英語 (訓練言語はシンハラ語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 2月のある程度にともない、社会事業者から保健、婦人問題がある。TEAMs 主催のスタッフは女性の比率が低く、協同隊として迎えられる。今年も100名減に運営している当施設に隊員派遣による2名隊員 (6ヶ月)、高年隊員 (6ヶ月) による1名隊員1名による、おんの子の今後の発展を望む。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について〇印で囲むこと): 工業高校卒、経験3年以上。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63年 9月 1日

調査者氏名 堀内好夫

(14986101)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
チュニジア	(現地公用語) Soudure (日本語) (240) 溶接	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 男女不問 人	2年2月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): <i>Ministère de l'éducation de l'enseignement et de la recherche scientifique</i> (日本語): 高等教育科学研究省					
② 隊員勤務先名称: <i>Ecole Nationale d'Ingénieur de Monastir</i> 日本語名称(モナステール技術大学校) 所在地: MONASTIR 主要都市(チュニス)から200キロ					
③ 事業規模及び内容: 敷地面積約 10000㎡、約800名の学生と120名の教師がいる。学内には、数学科、機械工学科、工科大学科、電気学科、化学科があり、今回の要請は、6年制と機械工学科からのものである。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 設備面では、学部として一番よくそろっている方で、実習に最低限必要をそろえている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 機械工学科の研究室助手(技官)					
② 技術の範囲: 溶接の基礎から最新の技術まで幅広く求められている。基礎的では、ガス溶接、電気溶接、特殊溶接が上げられます。					
③ 業務の形態: 機械工学科の研究室助手として約45名の学生に対し、実習と理論を指導する。学生の1、2年生は準備期間で教養と基礎学習をこなす。試験に合格したものは3年生として本格的に実習に入っていく。4年生は前半3ヶ月間セミナーに参加し、企業等の技術者を招き新しい知識を取り入れ、最後の6ヶ月間は卒業製作に当る。隊員は他の研究の補佐及び助言をおこなう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 約45名の学生(男子のみ)、ドクターの資格をもつ教授15%、他助手10%。					
⑤ 現地で利用できる機材: 実習室内にある機械はすべてフランス製である。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 学内にはフランス人10%、ポランド人1%がいる。					
⑦ 使用する言語: フランス語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 中進国としてさらに産業技術を発展させたいと考えている当国では、最新のテクノロジーの普及とその国の技術者養成の必要を感じている。その技術者養成所として、新しく理工学部が1978年に開校し、その任に当たっている。教授陣の80%は仏国、米国等に留学経験があり、日本の先端技術についても知っており、日本からの技術協力に非常に期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印、...)。 (大学卒(機械科)) 実務経験2年以上					
※ 事務局記入 258					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 9 月 10 日

調査者氏名 上野利男

146-87014

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
シリア	(現地公用語)	新規	(男) 1 人	元年12月	
	(日本語) (240) 溶接	(交替)	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Industry (日本語): 工業省	→ ITRC
② 隊員勤務先名称: Industrial Testing and Research Centre 所在地: ダマスカス	日本語名称 (工業試験研究所) 主要都市 (ダマスカス) から 7 キロ
③ 事業規模及び内容: 約 150 名	

④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 約半数の機材は援助によるもので、その大半は UNDP にある。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 指導員
② 技術の範囲: 非破壊検査全般及び品質管理
③ 業務の形態: 溶接構造物の非破壊検査及び品質管理に関し、当面カウンターパートへの技術・理論指導を行う。将来は工業省傘下の各工場の技術者に対して、育成・指導も実施する予定である。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 2名共ダマス大卒、うち1名は英国にて非破壊検査に関する研修を6か月受けている。

⑤ 現地で利用できる機材: 放射線透過試験装置, 磁粉探傷試験装置, 超音波探傷試験装置

⑥ 第3国人等の配置状況: 4年前迄、当所の他の職種には UN 専門家が

⑦ 使用する言語: 英語 (業務), アラビア語 (生活)。 6名活動していた。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:  
基礎から応用にわたる理論及び技術の、実務への利用方法を向上させることが望まれる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○非破壊検査実務5年 (各非破壊検査資格士級)  
○英会話力 → (放射線透過試験 (RT))

※ 事務局記入

25



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup>昭和 元年 3月 12日

調査者氏名

松山 博文

32289006

受入希望国名	受入希望業種 (現地公用語)	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
コスタリカ	Textiles (日本語) 260 織物	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Colegio Universitario de Cartago (日本語): カルタゴ短期大学					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称(同上)					
所在地: カルタゴ市, カルタゴ県 主要都市(首都)から20キロ					
③ 事業規模及び内容: 観光, 経営, 農科, 理工, 繊維など10学科に約900人の学生が 午後(1:00~8:00)学んでいる短大でカルタゴ市ではコスタリカ工科大学につぐ高等教育機関 であるが規模的には日本の小さな専門学校程度である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 現在設備拡張中のため各所に教場は分かれており繊維 学科は旧建物の一室で講義・実習が行われている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 短大の講師					
② 技術の範囲: 裁断から縫製までの織物に関する全般的知識。婦人小児服あるいは 紳士服 いづれかの経験があれば応用は可能。					
③ 業務の形態: 大学の講師としてカウンターパートと共に学生に織物一般の講義・実習を行なう と同時に現在の授業カリキュラムの改良もあり得る。 講義・実習は午後(1:00~8:00)のみでありまたコスタリカにおける衣類 生産は婦人服が50%, 小児服が30%, 紳士物が20%であり。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 学生。カウンターパートは繊維関係の学士で 自分で工場を経営しており技術水準は相当あり。					
⑤ 現地で利用できる機材: 裁断機 1台(Maimin), 縫製機 6台(Tuki), 部材等は大学側が必ず 応じて取り寄せる。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無					
⑦ 使用する言語: スパイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在コスタリカでは縫製工場の数が特恵関税に支えられ 増加の一途をたどっておりこれに伴う現場の責任者が追いつかない状況で、どの 工場も優秀な人材(管理職)を求めている。こうした中で隊員が着任し上記の人材を 養成していく事は十分有意義があり大学側の期待も必然的に大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
① 高専卒					
2. 30歳ぐらいが望ましい					
※ 事務局記入 260					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

00187012

記入 昭和 63 年 3 月 20 日

調査者氏名 堀 越 仁 志

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
バングラデシュ	(現地公用語) Textile Printing (日本語) 染色	新規 交替	(男) 1人 (女) 1人 (男女不明) 人	63年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Department of Women's Affairs (日本語): 婦人局					
② 隊員勤務先名称: District Women's Affairs Office 日本語名称(県婦人事務所) 所在地: ঢাকা又は(গুলি) 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 独立戦争の被災婦人達の更生施設として1972年2月に設立され、その後 時の流れと共に対象者は恵まれない貧困婦人になり、現在は50人の婦人が縫物 造物、時計修理の研修中(1年間コース)。彼女達の子供達は併設されている託児所にいる。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所、研修室、託児室、台所					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教官					
② 技術の範囲: Screen Printing 網目スクリーン印刷、Block Printing 版印刷 により布に模様を染める。					
③ 業務の形態: 50人の研修生の中から染色コースの人を選び、午前10時から午後 2時迄の間、スクリーン染や版染を教え、技術が上達したら生産 を行い、貧しい婦人達の現金収入の道を開く。 午後2時から午後4時迄は栄養、育児、家族計画、一般教 養といった授業も有り、隊員の能力により参加することも可能。					
D 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 教官は研修内容により、その仕事の出発 人を臨時にやっていると一定していない。対象婦人はほとんどの場合、無学歴、15~30歳、貧しい環境					
⑤ 現地で利用できる機材: 特に無し、機材を集めることから仕事をせねば ならない。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国は国民の大多数が回教徒という特色有り、女 性の社会進出はまだ少ない。まして離婚された女性や夫にさきだた れた女性の生活の道は少なく、このような女性達には職能訓練 をほどこし生活の道を開くことは急務といえよう。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (経験3年以上) 網目スクリーン印刷と版印刷の染色が					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入年次昭和 元年 3月 6日

調査者氏名 小野 隆一

(13189001)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
モロッコ	(現地公用語) Imprimerie (日本語) 270印 "刷	新規 <u>交替</u>	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	2年2月 (先年度2次隊)	
(1) 配属先 (62/2 宮川拓也)					
① 配属先名称(現地公用語): Ministère des Affaires Culturelles (日本語): 文化省					
② 隊員勤務先名称: Imprimerie Culturelle de Rabat 日本語名称(ラバト文化印刷センター) 所在地: ラバト市郊外 主要都市(ラバト中心)から 1キロ					
③ 事業規模及び内容: 日本文化奨励が供与した機械が使用して政府刊行物等の印刷を行う。 製版カメラ(オートマチック) フル自動現像機、PS版製版機、PS版自動現像機、印刷 機(小形スワッチ卓上型、107×480mm) 断裁機(TACKAL85)、紙折機(A-2)。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 無鉛鉛筆機(PBM-1)、プレス機、製本糸綴機(半自動)。 針糸綴機: a 採集、操作、指導を行う。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 印刷技師					
② 技術の範囲: 印刷機の設置、管理、修理、印刷技術の指導、カラー印刷の指導。					
③ 業務の形態: 文化省の配属として、独自の印刷業務として従事。現在省内の 中心に、政府刊行物の印刷、製本を行う。専任技術者約3人。 写真製版3人、印刷製版1人、印刷機械5人、製本加工3人の15%が定額 に携わっている。その他、資料管理2人、秘書3人、清掃係2人、通訳1人、工場 係1人(12)の全システム管理係(12)の他に実施されている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カレッジレベルの技術水準、同僚レベル の技術水準。自国印刷の技術は高水準の、3色カラー5色カラーの印刷機 ⑤ 現地で利用できる機材: 上記 ③ の通りからである。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し。					
⑦ 使用する言語: フランス語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 今、日本が供与した機械(総額5000万円相当) で印刷業務を行う。2012年技術の育成に重点を置いて、2013年 で印刷技術の育成を重点に3年間の育成計画を立て、新しい技術の育成が急務である。 印刷機材の提供、カラー印刷の普及、印刷業務の拡大、印刷業務の 育成に重点を置いて、2013年以降。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学又は専攻学校で印刷の技術者である 人、年齢30歳以上、5年以内、2012年は、学歴が、技術者、通訳、通訳に 関する印刷の知識が豊富である。印刷コースの専攻学校で専攻した 後、印刷業務に専攻する。26歳以上。					
※ 事務局記入 26?					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 元年 2 月 25 日

調査者氏名 堀内好夫

(14988004)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
チュニジア	Arts Graphiques (日本語) (270) 印刷	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	平成 2年2月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Ministère des Affaires Sociales, Office de la Formation et de la Promotion (日本語): 社会事業省職業訓練局 (O.F.P.P.) Professionnelle					
② 隊員勤務先名称: Centre de Formation Professionnelle des Arts Graphiques 日本語名称(印刷技術者養成職業センター) 所在地: N°25, Av. de l'Indép. Ariana 主要都市(Tunis)から6キロ					
③ 事業規模及び内容: 1975年に開設され①オセット②植字③製版のセクションがある。17才以上の青年に印刷技術を1年間にわたって教える職業訓練センターである。1987年度の予算は約390万円、1988年度は約520万円とのこと。教官6名、学生40~50名である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 写真参照					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: FORMATEUR (教官)					
② 技術の範囲: 上記3つの各セクションについて一通り教えることが出来る印刷技術全般を知っている必要がある。					
③ 業務の形態: センターは毎年10月1日から翌年9月30日まで開校、冬休み、春休み、夏休みがある。この休み期間生徒は企業研修を受けている。教官として隊員は週32時間月~金曜まで教える。同センターでは学生が印刷技術を学んでいると同時に政府・役所等で使用する公文書・経理文書フォームなども印刷し、政府に売って事業費としている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 学生40~50人、クラス10人前後の学生に印刷技術全般を教える。17才以上、当素人である。教官6名					
⑤ 現地で利用できる機材: ドイツ製(Heidelberger) オランダ製(PRAKTIKA) イギリス製、等があり利用できる。が故障している機械もある。 (7700)					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 仏語 アラビア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 技術的に同訓練センターは高く、学生も1年後には各企業に在りとか就職しているが、また新しい技術の取得を促している。日本人技術者に対しては、その3辺に期待をかける。また機械もしばしば故障するようで、機械のメンテナンスに関しても期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (印刷技術全般の知識)があり、かつ(経験5年以上)印刷機械についてもある程度知識があり簡単な修理技術をもっていればよりよい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62年 4月 6日

調査者氏名

奈良輪陸美

243-86-118

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マラウイ	(現地公用語) Press Engineer プレスエンジニア (日本語) 印刷	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	62年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): office of the President & Cabinet, Government Printing Department (日本語): 大統領府 政府印刷局					
② 隊員勤務先名称: Government Press Zomba 日本語名称(政府出版局 ゴンバ) 所在地: P.O. Box 37 Zomba. 主要都市(ツラニヤ)から 50 キロ					
③ 事業規模及び内容: 政府発行物(官報、国会演説集、各省庁統計レポート等)を主とする各省庁で使用される各種書式類の一切を本部がある当地で印刷する。全従業員約300人。印刷用紙は、リボンが常備20ト。1222支前は今年中に開始予定。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務棟 1、印刷棟 1、現像棟 1、倉庫 2。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Press Engineer (Professional officer)					
② 技術の範囲: 各種印刷機の保守・修理が可能に、又新機種導入時の機種選定を目的とし、新機種を含めた各種機械の操作法を印刷工に指導・訓練する。					
③ 業務の形態: 主たる業務としては現在ある機械(英国製6割、西独製3割、その他1割)の保守・管理に当たる。機械に於ては20-30年前、ワザ一機(東製)などは40年以上昔のものも現在稼働しており、これを含めた修理(特に電気系統の故障修理)が重要。又、マラウイ大学校(ツラニヤ)や教員養成所(ドマ市)、マラウイ農業省(リロングウェ)等出張し直接修理に当たる。故障部品の故障率調査、発注及び機械の寿命率についてのアドバイスも必要。印刷機タイプ: 英国(トナソン) 西独(ロランド・ドローイング) 日(日機等) 他。 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 1人、短大卒、ある程度の技術水準にあり、おおよそ2回ツラニヤのGeneral Fittingを勉強している。					
④ 現地で利用できる機材: 特殊工具を含め一応のものは揃っている。					
⑤ 第3国人等の配置状況: なし					
⑥ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在 Press Engineerとして8年の経験を持つ者が、本年10月より3ヶ月間の予定でマラウイ工学部コースに入学するためその後任者として要請があった。印刷技術の知識は豊富に、特に電気系統の故障修理が得意で、電気分野に熟練している人が望まれている。又、新しい日本の印刷技術には大いに期待しており、将来日本製機械の導入も併せて考えているとのこと。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大卒(工学部印刷専攻)、実務経験2-3年、英語堪能					
※ 事務局記入					